

2013年度

平成25年度

文学部履修案内

千葉大学文学部

文学部へようこそ

入学おめでとうございます。私たちはみなさんを心から歓迎いたします。

いま世界は大きく変わりつつあり、それにともなって日本の社会も、そして大学も変化を求められています。大学について述べるならば、いままでのように定型的な知識習得を目的とした学習ではなく、答えのない問題に主体的に答えを発見できる能力、あるいは未知の状況にも対応できる問題解決能力を涵養することが求められている、という話はよく耳にします。それは全く申し分なく正しいと思われるのですが、私はこのことに関して感じることを3つ申し上げておきたいと思います。

第1に、自在に運用できる問題解決能力を獲得するためには、前提として辛抱強い基礎的知識・技能の習得が不可欠であるということです。獅子の自由に至るためには、その前段階として忍耐に満ちた駱駝の歩みが必要です。獅子の自由を獲得するためには、学問の基礎的方法論の習得、あるいはツールとしての外国語の習得など、忍耐を要する鈍重な駱駝の歩みを決して厭わないでください。

第2に、第1の問題とも関連しますが、自分の好むところのみを追求しないでください。大学に入れば履修の自由度はこれまでよりずっと大きくなると思います。しかし、自分にとって好ましいと感じられる学問領域だけではなく、必ずしもこれまで関心を持てなかった領域、あるいはむしろ違和感を感じるような領域にも触れてみてください。好ましいと感じられる対象の間には、予定調和的でなめらかな関係性しか成立していません。しかし時には違和感を感じるもの、それどころか嫌悪さえ催すものを凝視することも必要かもしれません。なぜそれがざらついた感触をあたえるのか、それがどのような論理と感性に裏打ちされているゆえに好ましいと感じられないのかを、目をそらさずに考えることです。(それはたぶんなめらかで好ましい対象のみを選択する行為よりも、きっとその人を成長させるでしょう。)

最後になりますが、第3に文学部の学問について述べておきましょう。文学部の履修における最終的な目的は、自己の設定した課題について、根拠となる資料を集め、論理的に考え抜き、より多くの人を説得できる結論をことば—つまり「文」—にすることです。いずれみなさんに書いていただく卒業論文がこれに当たります。自明な結論が存在しない「問い」を自ら設定し、そこからより説得的な「ことば」を答えとして語り出すことが文学部の学問です。その意味ではむしろ世界の状況が文学部の学問に追いついてきたのだとも言えるでしょう。世界が流動化し、混迷しているとするならば、より多くの人に届く、力ある「ことば」に拠って立つことがますます重要になるはず です。

ではどうかみなさんの千葉大学文学部における日々が豊かなものとなりますように。

文学部長

山田 賢

目 次

文学部へようこそ

1 履修の仕方	
I 履修の心得	3
II 履修の仕組み	3
III 普遍教育科目の履修	4
IV 専門教育科目の履修	6
V 卒業論文	7
VI 自由選択	7
VII 西千葉地区共通化専門科目	7
VIII 教育学部開講の教職関連科目について	9
IX 特別な単位の認定	9
X 外国人留学生の履修	10
XI 先進科学プログラム人間探求コースの履修	11
XII 科目登録	11
XIII 単位上限制	12
XIV GPA (Grade Point Average) 「科目成績平均値」について	12
XV 単位認定	12
XVI 卒業認定	13
XVII 授業の公欠に関する扱いについて	13
XVIII 千葉大学「Web メールシステム」「通知板システム」について	14
XIX 「試験・補講期間」における授業重複について	15
XX 自然災害・事故及び交通機関のストライキ等に伴う授業の措置について	15
2 履修にかかわる規則	
I 千葉大学文学部規程 (抜粋)	16
II 文学部履修要項	19
III 別表2	21
行動科学科	21
史学科	24
日本文化学科	26
国際言語文化学科	28
文学部共通科目一覧	30
留学生科目一覧	30
司書資格取得に関する授業科目	30
他学科開講指定文学部共通科目一覧	31
IV 履修に関する注意事項, 科目の「読み替え」について	32
3 各種資格の取得	
I 教育職員免許状の取得について	33
II 学芸員資格の取得について	44
III 司書資格の取得について	45
IV 日本語教育コースについて	48
4 その他	
I 2013年度 (平成25年度) カレンダー	表表紙裏
II 2013年度 (平成25年度) 文学部学年暦	裏表紙裏
III 文学部教員名簿	49
IV 時間割・教室割表	52
V 事務手続について	64
VI 案内図	巻末折込
5 他学部履修許可願	巻末綴込
履修登録用紙	巻末綴込

1 履修の仕方

I 履修の心得

文学部に所属する学生は、「千葉大学学則」「千葉大学普遍教育等履修細則」「千葉大学文学部規程」(2-I)、そして「文学部履修要項」(2-II)にしたがって履修することになります。

まず、文学部での履修について、もっとも基本的な次のことを心得ておいてください。

1) 1学年(academic year)は、前期セメスター(semester 4月～9月)と後期セメスター(semester 10月～3月)の2学期制です。

2) 授業は、次のような時間割で組まれています。

1時限 8:50～10:20

2時限 10:30～12:00

3時限 12:50～14:20

4時限 14:30～16:00

5時限 16:10～17:40

各時限の授業は90分間ですが、1回につき2時間の授業を受けたものとされます。

3) 文学部で開講される専門科目は、セメスターごとに講義・演習は15回(30時間)で2単位、実験・実習は15回(30時間)で1単位が与えられます。

4) 文学部で開講される授業科目はセメスターごとに単位が認定されますが、授業科目によっては、同一セメスターに2つ以上の授業科目をセットで受講すること、同一年度に前期・後期を連続して受講することが求められるものがあります。

5) 単位修得の試験に関しては以下の「規則」が適用されます。

- a. 試験の際は、学生証を必ず机上におくこと。
- b. 試験開始後20分以上遅刻したものは、原則として受験できない。
- c. 試験開始後20分経過しなければ、退出はできない。
- d. 試験中に不正行為、あるいはそれとまぎらわしい行為をしてはいけません。

不正行為があった場合は、学則の定めるところにより懲戒処分の対象となる。

6) 履修に関する質問は、各学科教務委員の先生に問い合わせてください。教務委員の先生は毎年変わります。どの先生が教務委員なのかについては、掲示を確認してください。

II 履修の仕組み

1) 文学部を卒業するのに必要な単位(卒業要件)は、次のように合計124単位(先進科学プログラム人間探求コースのみ合計140単位)と定められています(表1参照)。ただし、これは最低の要件であり、それぞれの必要単位を超えて履修することを妨げるものではありません。各自の関心と必要に応じて積極的に学習してください。

(表1)

学 科 名	普 遍 教 育 科 目						専 門 教 育 科 目			卒 業 論 文	自 由 選 択	卒 業 単 位 数	
	英 語 科 目	初 修 外 国 語 科 目	情 報 リ テ ラ シ ー 科 目	ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 目	教 養 コ ア 科 目	教 養 展 開 科 目	計	文 学 部 共 通 科 目	専 門 基 礎 科 目				専 門 科 目
行 動 科 学 科	4~8 (6~10)	0~4	2	1~2	6	6~9	26 (28)	8~16	18 (30)	44~52 (46~54)	8	12	124 (140)
	8~10 (10~12)				<12~15>								
史 学 科	4~8	0~4	2	1~2	6	6~9	26	8~16	30	36~44	8	8	124
	8~10				<12~15>								
日 本 文 化 学 科	4~8	0~4	2	1~2	6	6~9	26	8~16	26	36~44	8	12	124
	8~10				<12~15>								
国 際 言 語 文 化 学 科	4~8	0~4	2	1~2	6	6~9	26	8~16	30	36~44	8	8	124
	8~10				<12~15>								
備考 () は先進科学プログラム(人間探求コース)を履修する学生の場合を示す。 < > は3年次編入学生の場合を示す。													

2) 諸注意

- a. 本学部に入學する前に他の大学等で修得した単位、あるいは入學後に海外の協定大学等で修得した単位については、審査の上、合わせて60単位まで卒業要件に認定されます(IX参照)。
- b. 外国人留學生の卒業要件も基本的には同様です。違いについてはXで説明します。
- c. 先進科学プログラム人間探究コースの履修については、XIで説明します。
- d. 3年次編入學生は、14頁の規程第9条にかかわらず、教養コア科目または教養展開科目から計12~15単位を履修してください。
- e. 科目の履修については年次が指定されています。当該年次で単位を修得しなかった場合はそれ以降に履修することもできますが、学習上必要な情報が含まれていますので、特に「必修科目」は指定年次に履修して下さい。
- f. それぞれの科目は1度しか単位として認定されません。ただし、科目名に「a, b…」がついている場合は、それぞれ別の科目とします。
- g. 単位認定、卒業認定については、「文学部履修要項」(2-II)の規則が適用されます。
- h. 本学部では、単位上限を導入しています。詳細についてXIIIで説明します。

III 普遍教育科目の履修

文学部の學生は、各学科での専門教育科目を履修することによって専門分野の学習を深めることが求められるのは当然ですが、同時に自己の専門をより広い学問世界の中に位置づけるために、全学で運営される普遍教育科目を履修することになっています。

普遍教育に関する履修の詳細については『Guidance 2013』を参照してください。

文学部の学生は、卒業までに普遍教育科目26単位を修得しなければなりません（表1参照）。

普遍教育科目は以下のように構成されています。

1) 英語科目

2) 初修外国語科目

ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・イタリア語・朝鮮語（韓国語）・ロシア語が開講されています。0～4単位必修となっていますが、文学部の学生は、英語以外の外国語も積極的に履修することが望まれます。

3) 情報リテラシー科目

コンピュータ・ネットワークの原理と倫理を学ぶとともに、情報処理の実習を行います。

文学部学生に指定されたクラスで受講してください。

4) スポーツ・健康科目

5) 教養コア科目

複数分野の導入的な知識と学問観を修得するとともに、それを通して学問そのものへの興味・関心を喚起することを目的とした科目で、以下の6群に分けられます。

- A. 論理と哲学 B. ことろと発達 C. 芸術と文化
D. 社会と歴史 E. 暮らしと環境 F. いのちと科学

各科目群で並列開講される科目のうち1科目を選択し、全科目群で1科目ずつ、即ち、合計6科目6単位を履修します。1科目は1単位（半セメスター）です。

6) 教養展開科目

教養コア科目の履修を通して喚起された学問への興味・関心を拡大、深化させ、豊かな教養へと結びつける科目です。自らの関心に応じて選択します。教育職員免許状、学芸員資格、司書資格などを取得するのに必要な科目の一部も開設されています。

その他

a) 学部開放科目

文学部および各学部で開講している科目の中で普遍教育のために「学部開放科目」とされているものは「教養展開科目」の単位として認定されます。ただし、所属学科の「学部開放科目」は専門教育科目となるので、教養展開科目とは認定されません。

b) 放送大学の開講科目

放送大学で開設されている授業科目で本学の指定した科目を普遍教育科目として履修することができます。ただし、受講するには放送大学の規則によって手続きと費用が必要です。

詳細は『Guidance 2013』を参照してください。

c) 千葉圏域コンソーシアム（神田外語大学・敬愛大学・城西国際大学）

本学は、神田外語大学・敬愛大学・城西国際大学との間で「千葉圏域コンソーシアム」を形成し、単位互換協定書を取り交わしています。各大学の開放科目について、「特別聴講学生」となって単位を修得すれば、普遍教育科目等の単位として認定されます。

履修希望は、普遍教育ホームページ（<http://www.fuhen-chiba-u.jp/>）または、普遍教育担当窓口にて募集要項等を確認し、手続きを行ってください。出願期間・方法については、大学によって異なります。

IV 専門教育科目の履修

専門教育は、文学部学生の学習の中心となるものです。千葉大学文学部は他の学部、さらには他大学の文学部と比較しても非常に多彩な授業科目を開設しています。そのため、学生は自分の関心に応じた、かなり自由な授業選択が可能となっていますが、同時に文学部では、学部教育は特定の専門分野に限らず、幅広く人文科学に関わる基礎的な知識を学ぶ機会でもあると考え、カリキュラムに「文学部共通科目」を設けて履修を求めています。

文学部の学生は卒業までに各学科で定められた専門教育科目（行動科学科・日本文化学科は計78単位、史学科・国際言語文化学科は計82単位）および卒業論文8単位を修得しなければなりません。

専門教育科目は、学科によって卒業要件が異なっています（表2参照）。

なお、先進科学プログラム人間探求コースの卒業要件については、別に定められています（XI参照）。

(表2)

	専門教育科目				計
	文学部共通科目	専門基礎科目	専門科目		
			講義科目	演習・実習科目	
行動科学科	8～16	18	24～32	20	78
史学科	8～16	30	区分無しで 36～44		82
日本文化学科	8～16	26	区分無しで 36～44		78
国際言語文化学科	8～16	30	20～28	16	82

1) 文学部共通科目

文学部の学生は、文学部共通科目を8～16単位履修しなければなりません。文学部共通科目の中の〈人文科学の現在1～8〉は、特定のテーマのもとに人文科学の先端的な課題を学外から招聘した講師に多方面から講義してもらうプロジェクト型科目として設定されています。文学部では、このプロジェクト型科目を4単位以上履修することを推奨しています。なお、「文学部共通科目」は、Ⅶで説明する「西千葉地区共通化科目」とは別のものですので注意して下さい。

2) 専門基礎科目

専門基礎科目には、各学科ごとに履修年次指定のある（選択）必修科目が含まれており、（選択必修の場合は選択の上）必ず履修しなければなりません。講座やコースなどへの「振り分け」を行う学科では、講座やコースなどが強く推奨するカリキュラム・科目があります。3年次編入生には個別に指導します。

3) 専門科目

専門科目は授業の形態や内容によって以下の2群に分けられます。

講義科目

それぞれの専門分野の概説や、専門的な領域についての講義（選択科目）

演習・実習科目

学生の主体的な参加による資料の分析や討論、調査や実験を行う科目（選択科目）

V 卒業論文

- 1) 卒業論文は、1月12日17時まで（時間厳守）に、学部学務グループ窓口に提出して下さい。ただし、1月12日が土・日・月曜日にあたる場合には、「成人の日」の翌日の火曜日17時を提出期限とします。
- 2) 卒業論文を提出する際には、あらかじめ「卒業論文題目届」の用紙を学部学務グループから受け取り、卒業論文1部に添えて提出して下さい。
- 3) 前期卒業を予定している人は、掲示に注意し、学部学務グループに確認して下さい。

VI 自由選択

原則として千葉大学で開講されているすべての科目について、修得した単位が自由選択として認定されます。次のⅦに挙げる「西千葉地区共通化科目」は、他学部からの聴講をあらかじめ認めただで開講されていますので、受講手続きが他の科目に比べて簡便になっています。また学科によっては受講を推奨している科目もあります。

Ⅶ 西千葉地区共通化専門科目

「西千葉地区共通化専門科目」とは、他学部で開講されている授業を文学部の科目として履修できるようにあらかじめ指定されている科目です。具体的には以下の表に示すように、法経学部と教育学部の開講授業から選択されています。これらの科目については原則的にすべて自由選択として認定されます。ただし、一部の学科では専門科目として認定される科目もあります（「※」参照）。また、この「西千葉地区共通化専門科目」は、「文学部共通科目」（P.30～31参照）及び「学科間共通化専門科目」（P.32参照）とは別のものですので注意して下さい。

この「西千葉地区共通化専門科目」を受講するにあたっては、次のことに注意して下さい。

- 1) 隔年開講の授業もあり、毎年開講されているとは限りません。
- 2) それぞれの科目の事情により、受入れ人数が制限されることがあります。

1. 法経学部（平成25年度）

医事法
公共哲学Ⅰ・Ⅱ
政治思想史Ⅰ・Ⅱ
経営学総論
簿記原理
計量経営学
財務諸表論

金融工学
社会保障論
環境経済論
環境政策論Ⅰ・Ⅱ

2. 教育学部（平成25年度）

国語学演習ⅠA
国語学演習ⅠB
国語学演習ⅡA
国語学演習ⅡB
国語学演習ⅣA
国語学演習ⅣB
日本の古典を読むⅠ
中国古典学講義Ⅲ
社会学概論
食物栄養学
調理学
数とそのしくみ
いろいろな図形
長さ・面積・体積
身近な確率・統計
バイオメカニクス
スポーツ栄養学
スポーツ社会学
児童心理学
学級の社会心理学
学習過程の心理学（中学校用）
子どもの人格発達

※行動科学科心理学講座が学生に推奨する科目（行動科学科の学生のみ、「専門科目（講義科目）」として認定されます）。

VIII 教育学部開講の教職関連科目について

「他学部用」の授業が開講されているものについては受講可能です。ただし、あくまでも「他学部用」の科目を受講することが条件となります。2013年度（平成25年度）の他学部用の開講科目は以下の通りです。ただし免許法の改定との関係で、今後、科目名称の変更、あるいは、なくなる科目もあることに注意してください。

現代教職論
教育制度論
教育学概論
教育方法論, 特別活動論
教育心理学
教育課程論
道德教育
生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ・Ⅱ
総合演習
社会科教育概論
社会科・公民教育論
社会科・地歴教育論
国語科教育概説Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
英語科教育法概論Ⅰ・Ⅱ
英語科教育法特論Ⅰ・Ⅱ
教職実践演習
臨床教育実践（平成25年度以降入学学生対象）
生涯学習概論

IX 特別な単位の認定

1) 本学部入学以前に他大学等で修得した単位（既修得単位）の認定

既修得単位は学生から提出された既修得単位認定申請書を審査の上、下記2)の単位とあわせて60単位まで卒業要件単位として認定されます。

2) 外国の大学で修得した単位の認定

千葉大学の派遣留学制度に基づき千葉大学が交流協定を結んでいる外国の大学へ留学した場合、留学中に修得した単位は、学生が提出した単位認定申請書を審査のうえ、上記1)の単位とあわせて60単位まで卒業要件単位として認定されます。

学部に対応する既存の授業科目がない場合でも、「派遣留学認定科目」として8単位まで認定されます。

3) 「短期留学国際プログラム」の単位の認定

「短期留学国際プログラム」とは本来、千葉大学に短期で留学してくる留学生のための外国語で行われる授業です。文学部の学生は所定の手続きをすることで受講できます。このプログラムの授業の単位は、自由選択として認定されます。

*以上の特別な単位認定に関する申請の手続き等については、学部学務グループに問い合わせてください。

X 外国人留学生の履修

文学部の外国人留学生の卒業要件は、基本的には他の学部学生と変わりません。前記 I からⅨまでの説明をよく読んでください。異なる点について説明します（表4参照）。

(表4)

学 科 名	普 遍 教 育 科 目								専 門 教 育 科 目			卒 業 論 文	自 由 選 択	卒 業 単 位 数
	日 本 語 科 目	英 語 科 目 [*]	日 本 事 情 科 目	情 報 リ テ ラ シ ー 科 目	ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 目	教 養 コ ア 科 目	教 養 展 開 科 目	計	文 学 部 共 通 科 目	専 門 基 礎 科 目	専 門 科 目			
行 動 学 科	4~6 8	2~4	4	2	1~2	6	4~5	26	8~16	18	44~52	8	12	124
史 学 科	4~6 8	2~4	4	2	1~2	6	4~5	26	8~16	30	36~44	8	8	124
日 本 文 化 学 科	4~6 8	2~4	4	2	1~2	6	4~5	26	8~16	26	36~44	8	12	124
国 際 言 語 文 化 学 科	4~6 8	2~4	4	2	1~2	6	4~5	26	8~16	30	36~44	8	8	124

※ 英語を母語・母国語とする人は、英語以外の外国語から履修すること。

1) 普遍教育科目について

- a. 外国語科目のうち、日本語科目として、「日本語6**」、「日本語7**」及び「日本語8**」（*には数字が入る）から4~6単位を、英語科目は2~4単位（英語を母語・母国語とする者は、英語以外の外国語）を履修しなければなりません。
- b. ただし、日本留学試験の成績が一定の点数以上の学生は、日本語の必修単位のうち2単位を指定の科目（「日本語の文法」、「隣人を知る」、「日本語の特徴」、「日本語の諸相」）のひとつで振り替えることができます。
- c. 普遍科目として、「日本事情1~10」から4単位を履修しなければなりません。この科目は教養展開科目（国際性を高める）のカテゴリーにも入っていますが、必修単位数までは「日本事情科目」で登録してください。4単位を越える分については、教養コア科目、教養展開科目のいずれかに振り替えることができます。

2) 専門教育科目について

留学生向けに開講される「日本を学ぶ a, b」「日本研究入門 a, b, c」を、合わせて8単位までを限度として履修できます。これらは所属学科を問わず、専門教育科目（文学部共通科目、ないし専門科目（「講義科目」「演習・実習科目」）として認定されます。

XI 先進科学プログラム人間探求コースの履修

文学部では、理学部・工学部と連携して、高い理数系の能力を持つ学生を早期に入学させ、人間性の科学的理解に関する学習を推進させるための「人間探求コース」を実施しています。

先進科学プログラム人間探求コースの学生は、基本的には文学部行動科学科の学生として扱われますが、科目履修に関しては次の表5を参照して下さい。その他の事項については、先進科学プログラムの履修案内を参照して下さい。

(表5)

普通教育科目						専門教育科目				自 由 選 択	卒 業 論 文	卒 業 単 位
英 語 科 目	初 修 外 国 語 科 目	情 報 リ テ ラ シー 科 目	ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 目	教 養 コ ア 科 目	教 養 展 開 科 目	専 門 基 礎 科 目	専門科目		学 部 共 通 科 目			
							講 義 科 目	実 習 ・ 演 習 科 目				
6~10	0~4	2	1~2	6	6~9	30	22~30	24	8~16	12	8	140
累計	10~12											
累計 28						累計 92						

XII 科目登録

千葉大学では、Webページによる履修登録を行っています [下記6) の場合を除く]。

- 履修する科目の登録は、年度の始まりに、前期セメスター、後期セメスターのすべてについて行います。別途指定された登録日時（裏表紙裏「2013年度（平成25年度）文学部学年暦」参照）までに手続きを完了してください。なお、後期セメスターの初めにも、追加・変更登録を行うことができます。
- 履修登録の詳細については、『履修登録・成績入力システム操作マニュアル』を参照してください。

URLは<http://registration.ss.chiba-u.jp/>です。このURLには、大学内のネットワークに接続されたコンピュータからのみアクセスできます。なお、WEB履修登録の際、システム上の理由により、登録された授業科目の科目区分が適正とは限らないことがあります。履修登録の際は、科目区分が間違っていないか、「文学部履修案内」等を参照しながら行ってください。WEB履修登録した授業科目の科目区分について疑問がある場合には、早急に学務グループに問い合わせてください。（登録内容の適正性の判定は、あくまでも「文学部履修案内」等に記載されている履修基準によります。）

また、文学部独自のシラバス閲覧システムが用意されており、こちらは学外からもアクセスできます。URLは<http://www.L.chiba-u.ac.jp/Syllabus/>です。

- 履修登録が完了したら、画面上で履修登録内容の確認を行い、さらに「履修科目登録確認表」（時間割）をプリントアウト若しくはPDFダウンロードしてください。この「履修科目登録確認表」には履修登

録した科目や単位集計表の内容が記載されますので、各自で大切に保存してください。

- 4) 履修登録をしていない授業科目については、原則として単位を修得することができません。
- 5) 履修登録期間外に授業科目の登録や取消しをすることは原則としてできません。また、後期の履修登録期間において、通期科目を削除することはできません。
- 6) 「学部開放科目」や「西千葉地区共通化科目」「他学部用教育学部教職科目」として指定されているもの以外の他学部開講科目を履修する場合には、巻末綴込の「他学部履修許可願」「履修登録用紙」を提出する必要があります。

XIII 単位上限制

- ・文学部では学生の自宅学習を含む学習活動を活性化し、同時に厳格な成績の評価を実施するため、1年間に履修登録できる単位数に上限を設けています。
- ・1年間に履修登録できる単位数の上限は、行動科学科 56単位、史学科 60単位、日本文化学科 56単位、国際言語文化学科 56単位です。
- ・次の各号のいずれかに該当する者および授業科目には、単位上限を適用しないこととします。
 - (1) 前年度に履修登録した単位数の80%以上で成績が優以上であった者
 - (2) 3年次編入学試験によって入学した者および先進科学プログラム人間探求コースに入学した者
 - (3) 資格を取得するための授業科目で卒業要件に含まれない授業科目
 - (4) その他、文学部で認めた者および授業科目

XIV GPA (Grade Point Average) 「科目成績平均値」について

文学部では、科目履修に当たって、学習到達度を測定する方法としてGPA(科目成績平均値)を算出し、学生に通知することになりました。2007年度入学生から適用されます。

GPAは次のように算出されます。

$$\frac{(4.0 \times \text{秀(S)} \text{の修得単位数} + 3.0 \times \text{優(A)} \text{の修得単位数} + 2.0 \times \text{良(B)} \text{の修得単位数} + 1.0 \times \text{可(C)} \text{の修得単位数})}{\text{総履修登録単位数 (「不可(F)」の単位数を含む)}}$$

ただし、他大学で修得した単位互換科目、認定科目、および卒業要件とならない科目は、GPAの算出から除外されます。

GPAで注意すべきことの一つは、履修登録して途中で履修をやめた授業科目をそのままにしておくと、不合格と同じ扱いになってしまい、GPAが低くなるということです。

履修をやめる場合には、履修取消期間内に、必ず履修の取り消しを行ってください。

XV 単位認定

- 1) 単位の認定は、「XII 科目登録」に示された所定の要領に従ってあらかじめ登録した科目についての

み、受けることができます。

- 2) 同一名称の授業科目は1度しか単位として認定されません。ただし、科目名に「a, b…」がついている場合は、それぞれ別の授業科目とします。
- 3) 試験、レポート、平素の学習状況、論文等による考査に合格したものに対して、所定の単位が与えられます。
- 4) 単位を修得するには、当該授業科目の授業回数の5分の4以上の出席を必要とします。
- 5) 本学部に入學以前に他大学等で修得した単位、あるいは入學後に海外の協定大学等に留学して修得した単位については、学生からの単位認定申請書を審査のうえ、合計60単位を限度として文学部の卒業要件単位として認定します（Ⅸ 特別な単位の認定を参照してください）。

XVI 卒業認定

卒業認定は文学部教授会の議を経て、学長が行います。

XVII 授業の公欠に関する扱いについて

このことについて、下記の表に記載されている事由に該当する場合は、公欠が認められます。公欠を申請したい場合は、以下の要領で手続をしてください。

- ① 学務グループの窓口「公欠届」があります。公欠の取扱いを希望する授業の担当教員数分の「公欠届」に必要事項を記載してください。
- ② 「公欠届」には、学務グループの確認印が必要となります。下表で指定されている添付書類を添えて、窓口にて検印を受けてください。検印のない「公欠届」は無効となります。
- ③ 下表で指定されている「届の提出時期」までに、授業担当教員に書類を提出してください。

公欠事由別一覧

区分	公欠事由	公欠期間	添付書類	届の提出時期
第一号	忌引き（二親等以内）の場合	一親等（父母等）及び配偶者：連続した7日間以内 二親等（祖父母・兄弟姉妹等）：連続した3日間以内	「会葬礼状」等	出席可能となった後一週間以内
第二号	学校保健法施行規則第18条に規定する伝染病（※）に罹患した場合、又は感染したおそれがある場合	診断書等に記入されている出席停止期間（2か月を超えた場合を除く。）	・医療機関発行の「診断書」又は「治癒証明書」 ・総合安全衛生管理機構発行の証明書等 ・総合安全衛生管理機構の証明印がある学生保険互助会給付金証明書の写	出席可能となった後一週間以内
第三号	教育実習・介護等体験等のうち当該学生の所属する学部教育委員会等の長が必要と認めた場合	実習等に参加する期間		事前又は出席可能となった後一週間以内

区分	公欠事由	公欠期間	添付書類	届の提出時期
第四号	課外活動において、関東甲信越大学体育大会、東日本医学生体育大会等又は全国大会以上の大会に出場する場合	大会に出場する期間	実施要項、パンフレット等	事前又は出席可能となった後一週間以内

※学校保健法施行規則第18条に規定する伝染病

- ・第一種 エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘瘡、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。）及び鳥インフルエンザ（病原体がインフルエンザウイルスA属インフルエンザAウイルスであって、その血清型がH5N1であるものに限る。）
- ・第二種 インフルエンザ（鳥インフルエンザ（H5N1）を除く。）、百日咳、麻疹、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、風疹、水痘、咽頭結膜熱（プール熱）、結核
- ・第三種 コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の伝染病
- ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）第6条第7項から第9項までに規定する新型インフルエンザ等感染症、指定感染症及び新感染症

(注) 上記の伝染病に罹患してしまった場合は、速やかに学務グループ（TEL：043-290-2352）へ連絡し、指示を仰いでください。

XVI 千葉大学「Webメールシステム」「通知板システム」について

1) 「Webメールシステム」について

Webメールシステム（https://cuacmsrv.chiba-u.jp/am_bin/amlogin）とは、千葉大学総合メディア基盤センターが学生に提供しているWEBメールシステムです。入学に際し、学生1人につき1つのメールアドレスが交付され、在学中はこのメールシステムを利用することができます。文学部では、このメールアドレスやログインに必要なパスワード等を、学生証配付時に交付しています。

なお、このメールアドレス宛てに、授業に関する情報やその他教育に関する情報が一斉配信されることもありますので、受信状況をこまめに見るようにしてください。

2) 「通知板システム」について

「通知板システム」のURLは、下記の通りです。

<https://cubbs.chiba-u.jp>（通知板システム）

[利用者番号について]

通知板システム、パスワード変更ページでは、ログインの際に「利用者番号」が必要です。「利用者番号」は、教育用端末のログインで使用するものと同じです。

「利用者番号」がわからない方は、下記のURLを参照してください。

<https://cuweb.imit.chiba-u.jp/checkuid.html>

このシステムの中の「学部学生掲示板」には、文学部生向けに休講情報等を掲載しています。ただし、全ての情報を掲載しているわけではありませんので、必ず学内の学部掲示板の掲示を併せて確認してください。

XX 「試験・補講期間」における授業重複について

「試験・補講期間」（8月1日～8月7日，2月5日～2月12日）において，補講授業・試験どうしが重複し，その結果，いずれか一方の授業への出席が難しくなった場合は，その事実が判明し次第，至急文学部学務グループの窓口へ相談してください。

XX 自然災害・事故及び交通機関のストライキ等に伴う授業の措置について

自然災害・事故及び交通機関のストライキ等に伴う「臨時休講」の取扱いについて，西千葉キャンパスにおいては，以下のとおり対応いたします。

1. 自然災害・事故及び交通機関のストライキ等に伴い，西千葉駅及びみどり台駅を運行する全線の列車が運行停止となった場合。
 - ① 午前6時30分までに運行しない場合は，第1及び第2時限の授業を臨時休講とする。
 - ② 午前10時までに運行しない場合は，第3，第4及び第5時限の授業を臨時休講とする。
 - ③ 正午までに運行しない場合は，第6及び第7時限の授業を臨時休講とする。
2. 台風等により，気象庁から西千葉キャンパスの所在地域に「暴風警報」（以下「警報」という。）が発令された場合。
 - ① 午前6時30分までに警報が解除されない場合は，第1及び第2時限の授業を臨時休講とする。
 - ② 午前10時までに警報が解除されない場合は，第3，第4及び第5時限の授業を臨時休講とする。
 - ③ 正午までに警報が解除されない場合は，第6及び第7時限の授業を臨時休講とする。
 - ④ 授業の開始後，警報が発令された場合は，当日のその後に開始する授業を臨時休講とする。
3. 西千葉駅及びみどり台駅を運行する全線の列車が運行停止とはなっていないが，台風の接近等により運行停止が見込まれる場合，又はその他の事由により通学及び帰宅が困難と判断される場合。各部局の状況等を勘案し，教育担当理事がキャンパスごとに決定する。
4. 部局の事情により，上記1～3の取扱いにより難い特別の事情がある場合。

当該部局長の判断により取扱いを決定することができる。

以上，「平成22年7月20日千葉大学学部教育委員会申合せ」より上記に鑑み，千葉大学文学部において，「臨時休講」の措置を講じることになった場合，その旨を「通知板システム」（<https://cubbs.chiba-u.jp>）〈学外からでも利用可〉の休講情報掲示板にて周知します。

なお，「臨時休講」の措置を講じることになった場合，当日は電話連絡がつながりにくいことが予想されますので，お電話での臨時休講のお問い合わせは極力お控えください。

2 履修にかかわる規則

I 千葉大学文学部規程（抜粋）

（総則）

第1条 千葉大学文学部（以下「本学部」という。）に関する事項は、千葉大学学則（以下「学則」という。）に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

（目的）

第1条の2 本学部は、人文科学すなわち人間と人間の生み出す文化を対象とする学問、具体的には、人間とは何かという根本的問いに始まり、人間の思惟や知覚・認知の仕組み、文化の形成過程やその特徴、社会における人間関係のあり方、文化や社会の時系列的変容のすがた、世界のさまざまな地域での言語や文化の特性などの研究を通して、社会や文化の根源を見据える能力を育成し、社会に貢献できる教養豊かな人材を送り出すことを目的とする。

（組織）

第2条 本学部に、次の学科を置く。

行動科学科

史学科

日本文化学科

国際言語文化学科

（教育課程）

第3条 本学部の教育課程は、普遍教育科目及び専門教育科目により編成する。

（先進科学プログラムの実施）

第4条 本学部において、先進科学教育センターの支援のもと、学則第35条に定める先進科学プログラムを実施し、行動科学科に先進科学プログラム（人間探求コース）を置く。

（授業科目及び履修方法）

第5条 全学で運営する普遍教育科目及び専門基礎科目（学部が開放する科目を含む。）の授業科目及び単位数は、千葉大学普遍教育等履修細則の定めるところによることとし、その履修方法は別表1（省略）のとおりとする。

2 専門教育科目の授業科目、単位数及び履修方法は、別表2（2－Ⅲ参照）のとおりとする。

3 司書の資格取得に必要な授業科目、単位数及び履修方法は、別表3（3－Ⅲ参照）のとおりとする。

4 第2項の規程にかかわらず、先進科学プログラム（人間探求コース）に係る専門教育科目の授業科目、単位数及び履修方法は、別に定めるところによる。

（履修手続）

第6条 学生は、履修しようとする授業科目を、担当教員の承認を得て、所定の期日までに学部長に届け出なければならない。

（単位の計算方法）

第7条 本学部が開設する専門教育科目の授業科目の単位数は、次の基準により計算するものとする。

一 講義及び演習は、15時間の授業をもって1単位とする。

二 実験及び実習は、30時間の授業をもって1単位とする。

三 授業を前2号の方法の併用により行う場合は、その割合に応じた時間の授業をもって1単位とし、その時間は教授会の議を経て別に定める。

（入学前の既修得単位等の認定）

第8条 入学前の既修得単位等の認定に関し必要な事項は、別に定める。

(卒業単位数)

第9条 卒業に必要な単位数は次のとおりとする。

学 科 名	普 遍 教 育 科 目							専 門 教 育 科 目			卒 業 論 文	自 由 選 択	卒 業 単 位 数
	英 語 科 目	初 修 外 国 語 科 目	情 報 リ テ ラ シー 科 目	ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 目	教 養 コ ア 科 目	教 養 展 開 科 目	計	文 学 部 共 通 科 目	専 門 基 礎 科 目	専 門 科 目			
行 動 学 科	4~8 (6~10) 8~10 (10~12)	0~4	2	1~2	6	6~9	26 (28)	8~16	18 (30)	44~52 (46~54)	8	12	124 (140)
史 学 科	4~8 8~10	0~4	2	1~2	6	6~9	26	8~16	30	36~44	8	8	124
日 本 文 化 学 科	4~8 8~10	0~4	2	1~2	6	6~9	26	8~16	26	36~44	8	12	124
国 際 言 語 文 化 学 科	4~8 8~10	0~4	2	1~2	6	6~9	26	8~16	30	36~44	8	8	124

備考 () は先進科学プログラム (人間探求コース) を履修する学生の場合を示す。

2 前項の規程にかかわらず、外国人留学生が卒業に必要な単位数は、次のとおりとする。

学 科 名	普 遍 教 育 科 目							専 門 教 育 科 目			卒 業 論 文	自 由 選 択	卒 業 単 位 数	
	日 本 語 科 目	英 語 科 目	日 本 事 情 科 目	情 報 リ テ ラ シー 科 目	ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 目	教 養 コ ア 科 目	教 養 展 開 科 目	計	文 学 部 共 通 科 目	専 門 基 礎 科 目				専 門 科 目
行 動 学 科	4~6 8	2~4	4	2	1~2	6	4~5	26	8~16	18	44~52	8	12	124
史 学 科	4~6 8	2~4	4	2	1~2	6	4~5	26	8~16	30	36~44	8	8	124
日 本 文 化 学 科	4~6 8	2~4	4	2	1~2	6	4~5	26	8~16	26	36~44	8	12	124
国 際 言 語 文 化 学 科	4~6 8	2~4	4	2	1~2	6	4~5	26	8~16	30	36~44	8	8	124

※ 英語を母語・母国語とする人は、英語以外の外国語から履修すること。

普遍教育科目について

- 外国語科目のうち、日本語科目として、「日本語6**」、「日本語7**」及び「日本語8**」(*には数字が入る) から4~6単位を、英語科目は2~4単位(英語を母語・母国語とする者は、英語以外の外国語)を履修しなければなりません。
- ただし、日本留学試験の成績が一定の点数以上の学生は、日本語の必修単位のうち2単位を指定の科目(「日本語の文法」、「隣人を知る」、「日本語の特徴」、「日本語の諸相」)のひとつで振り替えることができます。
- 普遍科目として、「日本事情1~10」から4単位を履修しなければなりません。この科目は教養展開科目(国際性を高める)のカテゴリーにも入っていますが、必修単位数までは「日本事情科目」で登録してください。4単位を越える分については、教養コア科目、教養展開科目のいずれかに振り替えることができます。

(考 査)

第10条 授業科目を履修した学生に対しては、考査を行い、合格者に対して単位を与える。

2 考査は、試験、論文、報告書及び平素の学習状況等により行う。

(試 験)

第11条 試験は、原則として学期の終わりに行う。

2 病気その他やむを得ない理由によって、試験を受けることができなかった者に対しては、願い出により追試験を行うことがある。

(成績評価)

第12条 考査の成績評価は、秀（90点以上）、優（80～89点）、良（70～79点）、可（60～69点）及び不可（59点以下）の評語で表し、秀、優、良、可を合格とし、不可を不合格とする。

(転学、転部及び転科)

第13条 本学部の学生で転学、転部又は転科を志望する者は、学部長を経て学長に願い出て、その許可を受けなければならない。

(卒業の認定)

第14条 本学部に4年（本学部に転部した学生にあっては、当該転部までの在学期間を含む。）以上存学し、卒業の要件として修得すべき単位を修得した者には、卒業の認定を行う。

(学位の授与)

第15条 本学部の卒業者には、学士（文学）の学位を授与する。

(教育職員免許状)

第16条 教育職員免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）に定める所要の単位を修得しなければならない。

2 本学部において当該所要資格を取得できる教育職員免許状及び免許教科の種類は、次のとおりとする。

学 科	免 許 状	免 許 教 科
行 動 科 学 科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社会 公民
史 学 科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社会 地理歴史
日 本 文 化 学 科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	国語 国語
国 際 言 語 文 化 学 科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英語 英語

(司書資格)

第17条 司書の資格を取得しようとする者は、別に定めるところにより、所要の単位を修得しなければならない。

(雑 則)

第18条 この規程に定めるもののほか、本学部の教育課程に関し必要な事項は、別に定める。

(規程の改正)

第19条 この規程の改正は、教授会の議を経るものとする。

附 則

1 この規程は、平成21年4月1日から施行する。(以下省略)

II 文学部履修要項

1) 文学部に所属する学生の履修については、「千葉大学学則」「千葉大学普遍教育等履修細則」「千葉大学文学部規程」のほか、この要項によります。

2) 文学部での卒業に必要な単位（これを卒業要件と呼ぶ）は、次表のように定められています（文学部規程第9条参照）。

		行動科学科	史学科	日本文化学科	国際言語文化学科
普 遍 教 育 科 目		26 (28)	26	26	26
専 門 基 礎 科 目		18 (30)	30	26	30
専 門 科 目	文学部共通科目	8~16	8~16	8~16	8~16
	学科専門科目	44~52 (46~54)	36~44	36~44	36~44
卒 業 論 文		8	8	8	8
自 由 選 択		12	8	12	8
卒 業 単 位 数		124 (140)	124	124	124
備考 ()内は先進科学プログラム人間探求コースを履修する学生の場合を示す。					

3) 千葉大学外国人留学生規程第3条第1項第1号により入学を許可された者の卒業に必要な単位（卒業要件）は、各学科によって定められています（文学部規程第9条の2参照）。

4) 科目の履修については年次が指定されています。ただし、履修年次で単位が未修得の場合は、指定年次以降の履修を妨げるものではありません。

5) 科目登録

a. 履修する科目の登録は、年度の始まりに、前期セメスター、後期セメスターのすべてについて行います。別途指定された登録日時までに手続きを完了してください。なお、後期セメスターの初めにも、追加・変更登録を行うことができます。

b. 科目を履修するには、その科目の最初の授業に出席し、その許可を得てください。

c. 履修の手続きの詳細については、所定の要領によります。

6) 単位上限制

- ・文学部では学生の自宅学習を含む学習活動を活性化し、同時に厳格な成績の評価を実施するため、1年間に履修登録できる単位数に上限を設けています。
- ・1年間に履修登録できる単位数の上限は、行動科学科 56単位、史学科 60単位、日本文化学科 56単位、国際言語文化学科 56単位です。
- ・次の各号のいずれかに該当する者および授業科目には、単位上限を適用しないこととします。
 - (1) 前年度に履修登録した単位数の80%以上で成績が優以上であった者
 - (2) 3年次編入学試験によって入学した者および先進科学プログラム人間探求コースに入学した者
 - (3) 資格を取得するための授業科目で卒業要件に含まれない授業科目
 - (4) その他、文学部で認めた者および授業科目

7) 単位認定

- a. 単位の認定は、所定の要領に従ってあらかじめ登録した科目についてのみ、受けることができます。
- b. 同一名称の授業科目は1度しか単位として認定されません。ただし、科目名に「a, b…」がついている場合は、それぞれ別の授業科目とします。
- c. 試験、レポート、平素の学習状況、論文等による考査に合格したものに対して、所定の単位を与えます。
- d. 単位を修得するには、当該授業科目の授業回数の5分の4以上の出席を必要とします。
- e. 本学部に入学前に他大学等で修得した単位、あるいは入学後に海外の協定大学等で修得した単位については、所定の審査を経て、合計60単位を限度に文学部が卒業要件として認定します。

8) 卒業論文

- a. 卒業論文は、1月12日17時まで（時間厳守）に、学部学務グループ窓口に提出して下さい。ただし、1月12日が土・日・月曜日にあたる場合には、「成人の日」の翌日の火曜日17時を提出期限とします。
- b. 卒業論文を提出する際には、あらかじめ「卒業論文題目届」の用紙を学部学務グループから受け取り、卒業論文1部に添えて提出して下さい。
- c. 前期卒業を予定している人は、掲示に注意し、学部学務グループに確認して下さい。
- d. 卒業認定は、文学部教授会の議を経て、学長が行います。

Ⅲ 別表2

各授業科目の具体的な内容等については、WEBシラバスを参照してください。以下の表に記載されている授業科目のすべてが、毎年開講されているとは限らないので注意してください。

〈千葉大学文学部ホームページ URL: <http://www.l.chiba-u.ac.jp/>〉

行動科学科

授業科目区分 卒業要件単位			授 業 科 目	履修年次				履修要件	備考	
				1	2	3	4			
専門教育 科目 78単位	文学部共通科目 8～16単位		文学部共通科目一覧参照							
	専門基礎科目 18単位		必修 必修 必修 必修 必修 必修 必修	行動科学入門 a,b 哲学基礎 認知情報科学基礎 心理学基礎 社会学基礎 文化人類学基礎 卒業論文特別演習 a,b	*	*	*	*	*	
専門科目 44～52単位	講義科目 24～32単位		論理学の哲学 a,b 価値論 a,b 科学基礎論 a,b 技術論 a,b 科学史 a,b 東洋哲学概説 a,b 西洋古代中世哲学 a,b,c,d 西洋近世近代哲学 a,b,c,d 現代哲学 a,b,c,d 倫理思想史 a,b,c,d 現代哲学講読 a,b,c,d 知識論講読 a,b,c 行為論講読 a,b,c 文化論講読 a,b,c 東洋哲学講読 a,b,c,d 人文情報学概論 記号論理学 a,b 情報科学基礎論 a,b 神経情報処理基礎論 a,b 認知行動基礎論 a,b データ解析基礎論 a,b 多変量データ解析論 a,b 比較認知論 a,b 言語情報処理論 a,b 知的情報処理論 a,b,c,d 意志決定論 a,b 心理言語学 a,b 動物心理学 a,b 認知尺度構成論 a,b 生理学 a,b 心理学研究法 a,b,c 覚醒心理学 a,b 認知心理学 a,b 人格心理学 a,b 社会心理学 a,b 発達心理学 a,b 臨床心理学 a,b	*	*	*	*	*	*	

授業科目区分 卒業要件単位		授 業 科 目	履修年次 1 2 3 4	履修要件	備考
		視覚認知論 a,b	* * *		教育学部開講 「西千葉地区 共通化科目」
		高次認知論 a,b	* * *		
		対人行動論 a,b	* * *		
		児童心理学	* * *		
		学級の社会心理学	* * *		
		学習過程の心理学	* * *		
		子ども的人格発達	* * *		
		社会学概説 a,b	* * *		
		理論社会学 a,b	* * *		
		家族社会学 a,b	* * *		
		産業社会学 a,b	* * *		
		交通社会学 a,b	* * *		
		環境社会学 a,b	* * *		
		地域社会学 a,b	* * *		
		国際社会学 a,b	* * *		
		文化社会学 a,b	* * *		
		メディア社会学 a,b	* * *		
		コミュニケーション社会学 a,b	* * *		
		ジェンダーの社会学 a,b	* * *		
		社会問題の社会学 a,b	* * *		
		生活史の社会学 a,b	* * *		
		応用社会学 a,b	* * *		
		医療と福祉の社会学 a,b	* * *		
		情報社会学論 a,b	* * *		
		文化人類学概説 a,b	* * *		
		生物人類学概説 a,b	* * *		
		地域文化論 a,b,c,d	* * *		
		民族誌 a,b,c,d	* * *		
		文化変容論 a,b	* * *		
		開発人類学 a,b	* * *		
		医療人類学 a,b	* * *		
		宗教人類学 a,b	* * *		
		生態人類学 a,b	* * *		
		政治人類学 a,b	* * *		
		経済人類学 a,b	* * *		
		性の人類学 a,b	* * *		
		映像人類学 a,b	* * *		
		芸能人類学 a,b	* * *		
		ユーラシア文化論 a,b,c,d	* * *		
		内陸アジア文化論 a,b,c,d	* * *		
		派遣留学認定科目 1,2,3,4	* * * *		
	演習・実習科目 20単位	哲学基礎演習(読解) a,b	*		日本文化開講 日本文化開講
		哲学基礎演習(作文) a,b	*		
		古代中世哲学演習 a,b,c,d	* * *		
		近世近代哲学演習 a,b,c,d	* * *		
		現代哲学演習 a,b,c,d	* * *		
		倫理学演習 a,b,c,d	* * *		
		科学基礎論演習 a,b,c,d	* * *		
		科学史演習 a,b,c,d	* * *		
		東洋哲学演習 a,b,c,d	* * *		
		認知情報科学基礎演習 a,b	*		
		比較認知行動論演習 a,b	* * *		
		多様性認知論演習 a,b	* * *		
		言語認知情報学演習 a,b	* * *		

授業科目区分 卒業要件単位		授 業 科 目	履修年次				履修要件	備考
			1	2	3	4		
		認知情報解析学演習 a,b		*	*			
		知識情報科学演習 a,b		*	*			
		認知情報科学基礎実習 a,b		*				
		認知情報科学発展実習 a,b		*		同基礎実習		
		認知情報科学特別実習 a,b			*	同発展実習		
		心理学初級実験 a,b		*				
		心理学中級実験 a,b		*		同初級実験		
		心理学上級実験 a,b			*	同中級実験		
		心理学基礎演習 a,b		*				
		知覚心理学演習 a,b,c,d		*	*			
		認知心理学演習 a,b,c,d		*	*			
		人格・発達心理学演習 a,b,c,d		*	*			
		社会心理学演習 a,b,c,d		*	*			
		高次認知論演習 a,b,c,d		*	*			
		社会調査概説 a,b		*				
		社会調査実習 a,b,c,d		*		同調査概説		
		社会学研究方法 a,b		*				
		社会学演習 a,b		*		同研究方法		
		社会学原書講読 a,b		*				
		社会学一夕分析演習 a,b		*		同調査概説		
		文化人類学調査概説 a,b		*				
		文化人類学調査実習 a,b,c,d		*		同調査概説		
		文化人類学研究方法 a,b		*				
		文化人類学演習 a,b		*		同研究方法		
		生物人類学演習 a,b		*	*	*		
		文化人類学原書講読 a,b		*	*	*		
卒業論文 8単位		必修		*				

史 学 科

授業科目区分 卒業要件単位			授 業 科 目	履修年次				履修要件	備考
				1	2	3	4		
専門教育 科目 82単位	文学部共通科目 8～16単位		文学部共通科目一覧参照						
	専門基礎科目 30単位	必修 必修 必修	歴史学入門 a,b 歴史学基礎演習 a,b 史学方法論 a,b 世界史基礎 a,b 文化財学概説 a,b 図像情報史学概説 a,b 日本史概説 a,b 東アジア史概説 a,b アジア史概説 a,b ヨーロッパ・アメリカ史概説 a,b 文化財学基礎演習 a,b 図像情報史学基礎演習 a,b 文書学基礎演習 a,b,c 外国語史料基礎演習 a,b,c,d 漢籍史料基礎演習 a,b 卒業論文特別演習 a,b	*	*	*	*		
専門科目 36～44単位	(講義科目)		地域考古学 a,b 比較考古学 a,b 環境考古学 a,b 物質文化論 a,b 先史考古学 a,b 歴史考古学 a,b 北方先史文化論 a,b 歴史人類学 a,b 宗教文化史 a,b 図像解釈学 a,b 表象文化史 a,b 日本美術史 a,b ヨーロッパ美術史 a,b 都市史 a,b 文書館学 a,b オールラールヒストリー a,b 情報社会史 a,b 国際関係史 a,b 国際社会史 a,b 歴史社会学 a,b 国際移動交流史論 a,b ヨーロッパ思想史 a,b アジア思想史 a,b 地域ジェンダー史 a,b マイノリティー史 a,b 人種・エスニシティー史論 a,b 日本古代史 a,b 日本中世史 a,b 日本近世史 a,b 日本近代史 a,b 日本現代史 a,b 東アジア地域史 a,b 東アジア伝統社会論 a,b 東アジア近現代社会論 a,b 東南アジア地域史 a,b 南アジア地域史 a,b イスラーム地域史 a,b 中東・北アフリカ近現代社会論 a,b 北アメリカ地域史 a,b 中南アメリカ地域史 a,b	*	*	*	*		

授業科目区分 卒業要件単位		授 業 科 目	履修年次				履修要件	備考		
			1	2	3	4				
		東ヨーロッパ地域史 a,b	*	*	*	*				
		西ヨーロッパ地域史 a,b	*	*	*	*				
		地中海地域史 a,b	*	*	*	*				
		ヨーロッパ古代社会論 a,b	*	*	*	*				
		ヨーロッパ中世社会論 a,b	*	*	*	*				
		ヨーロッパ近現代社会論 a,b	*	*	*	*				
		アジア・アフリカ植民地史論 a,b	*	*	*	*				
		比較社会史 a,b	*	*	*	*				
		家族社会学 a,b	*	*	*	*				
		民俗・伝承論 a,b	*	*	*	*				
		日本思想論 a,b	*	*	*	*				
		イメージ文化論 a,b	*	*	*	*				
		派遣留学認定科目 1,2,3,4	*	*	*	*				資格科目
		(演習・実習科目)	文化財学実習 a,b,c,d,e,f	*	*	*				
		考古学演習 a,b,c,d	*	*	*	*				
		考古学実習 a,b,c,d,e,f	*	*	*	*				
		先史考古学演習 a,b,c,d	*	*	*	*				
		博物館学実習 a,b,c	*	*	*	*				
		宗教文化史演習 a,b,c,d	*	*	*	*				
		図像解釈学演習 a,b,c,d	*	*	*	*				
		日本美術史演習 a,b,c,d	*	*	*	*				
		ヨーロッパ美術史演習 a,b,c,d	*	*	*	*				
		中世記録史料演習 a,b,c,d	*	*	*	*				
		近世記録史料演習 a,b,c,d	*	*	*	*				
		近代記録史料演習 a,b,c,d	*	*	*	*				
		古文書実習 a,b,c,d,e,f	*	*	*	*				
		古文書学実習 a,b,c,d,e,f	*	*	*	*				
		歴史情報論演習 a,b,c,d	*	*	*	*				
		国際関係史演習 a,b,c,d	*	*	*	*				
		国際社会史演習 a,b,c,d	*	*	*	*				
		歴史社会学演習 a,b,c,d	*	*	*	*				
		東南アジア社会論演習 a,b,c,d	*	*	*	*				
		アジア思想史演習 a,b,c,d	*	*	*	*				
マイノリティー史演習 a,b,c,d	*	*	*	*						
比較ジェンダー史演習 a,b,c,d	*	*	*	*						
人種・エスニティー史論演習 a,b,c,d	*	*	*	*						
中東史史料演習 a,b,c,d	*	*	*	*						
東アジア古典語史料演習 a,b,c,d	*	*	*	*						
朝鮮語史料演習 a,b,c,d	*	*	*	*						
卒業論文 8単位	必修				*					

授業科目区分 卒業要件単位		授 業 科 目	履修年次				履修要件	備考
			1	2	3	4		
		中世文化論演習 a,b	*	*	*	*	資格科目 日文、国際共通開講	
		近世文化論演習 a,b	*	*	*	*		
		古代文学論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		中世文学論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		近世文学論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		近代文学論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		現代文学論演習 a,b	*	*	*	*		
		中国文学演習 a,b	*	*	*	*		
		古代日本語演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		近代日本語演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		現代日本語演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		日本地域言語学音韻論演習 a,b	*	*	*	*		
		日本地域言語学形態論演習 a,b	*	*	*	*		
		日本語教育方法論演習 a,b	*	*	*	*		
		多言語多文化接触論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		日本語授業演習 a,b	*	*	*	*		
		日本文法演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		言語学基礎演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		言語体系論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		言語機能論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		アイヌ語学演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		アイヌ文化論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		中国・朝鮮言語文化論演習 a,b	*	*	*	*		
		アイヌ語 a,b	*	*	*	*		
		フィールド調査法演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		内陸アジア文化論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		ユーラシア言語文化論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		ユーラシア言語類型論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		ユーラシア言語接触論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		ユーラシア民族文化論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		ユーラシア文化論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		漢籍史料基礎演習 a,b	*	*	*	*		
卒業論文 8単位	必修			*				史学科開講

国際言語文化学科

授業科目区分 卒業要件単位			授 業 科 目	履修年次				履修要件	備考
				1	2	3	4		
専門教育 科目 82単位	文学部共通科目 8～16単位		文学部共通科目一覧参照						
	専門基礎科目 30単位	必修	国際言語文化学入門 a,b * * * * 英語書読 a,b,c,d * * * * 独語 a,b,c,d,e,f * * * * 仏語 a,b,c,d * * * * 露語 a,b,c,d * * * * 西英会話 I a,b * * * * 英会話 II a,b * * * * 独語会話 a,b,c,d * * * * 仏語会話 a,b,c,d * * * * 西語会話 a,b,c,d * * * * ロシア語会話 a,b,c,d * * * * 英作文 I a,b * * * * 英作文 II a,b * * * * 独語作文 a,b,c,d * * * * 仏語作文 a,b,c,d * * * * ドイツ語演習 a,b,c,d * * * * フランス語演習 a,b,c,d,e,f * * * * ロシア語演習 a,b,c,d * * * * 西洋近代語演習 a,b,c,d * * * * ラテン語演習 a,b,c,d,e,f * * * * 古代ギリシア語演習 a,b,c,d,e,f * * * * 論文作成演習 * * * * 卒業論文特別演習 a,b * * * *						
	専門科目 36～44単位	講義科目 20～28単位	比較文化概説 a,b * * * * 比較文化交流論 a,b * * * * 比較文学概説 a,b * * * * 多言語多文化接触論 a,b * * * * 複合文化論 a,b * * * * イメージ文化論 a,b * * * * スラヴ文化論 a,b * * * * 東アジア文化論 a,b * * * * 比較文明論 a,b * * * * 比較宗教思想論 a,b * * * * ロシア文化論 a,b * * * * 文学理論概説 a,b * * * * 演劇論 a,b * * * * ヨーロッパ演劇史 a,b * * * * 小説論 a,b * * * * 児童文学論 a,b * * * * 文芸思想論 a,b * * * * 言語コミュニケーション論概説 a,b * * * * 外国語習得概論 a,b * * * * 英語学概説 a,b * * * * 英語音声学 a,b * * * * 英文法 a,b * * * * 英語史 a,b * * * * ドイツ語学概説 a,b * * * * ドイツ語史 a,b * * * * フランス語学概説 a,b * * * * フランス語史 a,b * * * * ロシア語学概説 a,b * * * * スペイン語学概説 a,b * * * * ヨーロッパ文化論 a,b * * * * 英語圏文化論 a,b * * * * イギリス文学概説 a,b * * * *				日文、国際共通開講		

授業科目区分 卒業要件単位		授 業 科 目	履修年次				履修要件	備考
			1	2	3	4		
		イギリス文化論 a,b	*	*	*	*		
		北米文化論 a,b	*	*	*	*		
		広域英語圏文化論 a,b	*	*	*	*		
		イギリス文学史 a,b	*	*	*	*		
		アメリカ現代文化論 a,b	*	*	*	*		
		アメリカ小説論 a,b	*	*	*	*		
		アメリカ文化論 a,b	*	*	*	*		
		アメリカ文学史 a,b	*	*	*	*		
		ドイツ現代社会文化論 a,b,c,d	*	*	*	*		
		現代ドイツ事情 a,b,c,d	*	*	*	*		
		ドイツ語圏文化論 a,b	*	*	*	*		
		ドイツ文学史 a,b	*	*	*	*		
		フランス文化論 a,b	*	*	*	*		
		フランス文学史 a,b	*	*	*	*		
		スペイン文学史 a,b	*	*	*	*		
		言語学概説 a,b	*	*	*	*	日本文化開講	
		社会言語学 a,b	*	*	*	*	一部日本文化開講	
		図像解釈学 a,b	*	*	*	*	史学科開講	
		ヨーロッパ近現代社会論 a,b	*	*	*	*	史学科開講	
		ヨーロッパ地域史 a,b	*	*	*	*	史学科開講	
		西ヨーロッパ系 a,b	*	*	*	*	日本文化開講	
		派遣留学認定科目 1,2,3,4	*	*	*	*		
	演習・実習科目 16単位	比較文化論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		比較文学論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		多言語多文化接触論演習 a,b,c,d	*	*	*	*	日文、国際共通開講	
		複合文化論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		イメージ文化論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		文学理論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		スラヴ文化論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		比較宗教思想論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		文芸思想論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		生成文法理論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		英語学演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		英語学文献講読 a,b,c,d	*	*	*	*		
		ドイツ語学演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		英語圏文化論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		広域英語圏文化論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		イギリス文化論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		イギリス文学演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		アメリカ文学演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		アメリカ小説論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		北米文化論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		アメリカ文化論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		芸術メディア論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		英語論文演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		ドイツ文化論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		ドイツ文学演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		オーストリア文学演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		フランス文学演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		フランス思想演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		ロシア文学演習 a,b	*	*	*	*		
		スペイン文学演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		スペイン文学講読 a,b	*	*	*	*		
		翻訳演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		西洋中世語演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
卒業論文 8単位	必修				*			

文学部共通科目一覧

授 業 科 目 名	履修年次	単 位
人 文 科 学 の 現 在 1	1,2,3,4	2
人 文 科 学 の 現 在 2	1,2,3,4	2
人 文 科 学 の 現 在 3	1,2,3,4	2
人 文 科 学 の 現 在 4	1,2,3,4	2
人 文 科 学 の 現 在 5	1,2,3,4	2
人 文 科 学 の 現 在 6	1,2,3,4	2
人 文 科 学 の 現 在 7	1,2,3,4	2
人 文 科 学 の 現 在 8	1,2,3,4	2
人 文 科 学 の 現 在 9	1,2,3,4	2
人 文 科 学 の 現 在 10	1,2,3,4	2
美 学 概 説 a,b	2,3,4	各2
精 神 医 学 a,b	2,3,4	各2
博 物 学 a,b	2,3,4	各2
地 誌 a,b	2,3,4	各2
自 然 地 理 学 a,b	2,3,4	各2
人 文 地 理 学 a,b	2,3,4	各2
中 国 文 学 論 a,b	2,3,4	各2
大 学 図 書 館 論	2,3,4	2
専 門 図 書 館 論	2,3,4	2
電 子 図 書 館 論	2,3,4	2
応 用 倫 理 学 の 基 礎	1,2,3,4	2
科 学 技 術 倫 理 学	1,2,3,4	2
情 報 倫 理 学	1,2,3,4	2
生 命 倫 理 学	1,2,3,4	2
環 境 倫 理 学	1,2,3,4	2
経 済 倫 理 学	1,2,3,4	2
ジ ェ ン ダ ー 倫 理 学	1,2,3,4	2
ラ テ ン 語 入 門 a,b,c,d	1,2,3,4	各2
古 典 ギ リ シ ア 語 入 門 a,b,c,d	1,2,3,4	各2
サ ン ス ク リ ッ ト 語 入 門 a,b,c,d	1,2,3,4	各2
現 代 社 会 で 働 く こ と	1,2,3,4	2
他 学 科 開 講 指 定 文 学 部 共 通 科 目 (次 頁 参 照)		各2

留学生科目一覧

授 業 科 目 名	履修年次	単 位
日 本 を 学 ぶ a,b**	1,2	各2
日 本 研 究 入 門 a,b,c**	1,2	各2

※上記科目は、「専門教育科目」としても認定されます (P.10参照)。

司書資格取得に関する授業科目

授 業 科 目 名	履修年次	単 位
情 報 サ ー ビ ス 論	2,3,4	2
情 報 サ ー ビ ス 演 習	3,4	2
情 報 検 索 演 習	3,4	2
資 料 ・ 情 報 組 織 論	2,3,4	2
資 料 ・ 情 報 組 織 演 習 a,b	3,4	各2
図 書 館 イ ン タ ー ン シ ッ プ	3,4	2

他学科開講指定文学部共通科目一覧

行 動 科 学 科	哲 学 基 礎 認 知 情 報 科 学 基 礎 心 理 学 基 礎 社 会 学 基 礎 文 化 人 類 学 基 礎 価 値 論 a, b 科 学 基 礎 論 a, b 技 術 論 a, b 東 洋 哲 学 概 説 a, b 現 代 哲 学 史 a, b, c, d 倫 理 思 想 史 a, b, c, d 人 文 情 報 学 概 論 社 会 学 概 説 a, b 社 会 調 査 概 説 a (bは対象外)
史 学 科	文 化 財 学 概 説 a, b 図 像 情 報 史 学 概 説 a, b 日 本 史 概 説 a, b ア ジ ア 史 概 説 a, b ヨ ー ロ ッ パ ・ ア メ リ カ 史 概 説 a, b 東 ア ジ ア 史 概 説 a, b 文 書 館 学 a, b 表 象 文 化 史 a, b
日 本 文 化 学 科	日 本 文 学 史 a, b, c, d, e, f, g, h 日 伝 承 文 学 論 a, b 民 俗 文 化 論 a, b 中 世 文 化 論 a, b 近 世 文 化 論 a, b 現 代 文 学 論 a, b 日 本 語 学 概 説 a, b 日 本 語 教 育 方 法 論 a, b 日 本 語 教 育 方 法 論 演 習 a, b 日 本 語 授 業 演 習 a, b 第 二 言 語 習 得 論 a, b 異 文 化 間 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論 a, b 音 声 学 a, b 言 語 体 系 論 a, b 言 語 機 能 論 a, b ユ ー ラ シ ア 言 語 類 型 論 a, b ユ ー ラ シ ア 口 承 文 芸 論 a, b 中 国 ・ 朝 鮮 言 語 文 化 論 a, b
国 際 言 語 文 化 学 科	比 較 文 化 概 説 a, b 比 較 文 学 概 説 a, b ス ラ ヴ 文 化 論 a, b 文 学 理 論 概 説 a, b 言 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論 概 説 a, b ヨ ー ロ ッ パ 文 化 論 a, b 英 語 圏 文 化 論 a, b ド イ ツ 語 圏 文 化 論 a, b フ ラ ン ス 文 化 論 a, b

※上記科目のうち、所属学科以外の他学科において開講される科目を履修した場合、「文学部共通科目」として認定されます。

IV 履修に関する注意事項、科目の「読み替え」について

文学部学生は、それぞれの入学年度の履修案内に従って履修してください。

ただし、来年度以降に新規開講される科目については、入学年度に関わりなく全学年で新規に履修できます。また、「他学科開講指定文学部共通科目」についても入学年度に関わりなく受講年度の科目指定一覧に従って履修してください。

※平成23年度以前入学の先進科学プログラム人間探究コース学生へ

なお、2004年度（平成16年度）より実施の先進科学プログラム人間探求コースでは、演習・実習科目において、「人間探求基礎演習」「人間探求基礎実習」「人間探求発展演習」が、それぞれ必修となっていますが、これらの科目への読み替えは、以下の表に従ってください。（a, b等は省略）

人間探求コースの科目	読み替えできる授業科目
人間探求基礎演習	哲学基礎演習（読解）、認知情報科学基礎演習、心理学基礎演習、社会調査概説、文化人類学研究法
人間探求基礎実習	哲学基礎演習（作文）、認知情報科学基礎実習、心理学初級実験、社会調査実習 [*] 、文化人類学調査概説
人間探求発展演習	古代中世哲学演習、近世近代哲学演習、現代哲学演習、倫理学演習、科学基礎論演習、科学史演習、東洋哲学演習、計量心理学演習、比較認知行動論演習、多様性認知論演習、文書・対話演習、計算言語学演習、知覚心理学演習、認知心理学演習、人格・発達心理学演習、社会心理学演習、臨床・発達心理学演習、高次認知論演習、社会学演習、文化人類学演習

※3年次に履修のこと。

※学科間共通化専門科目について

平成24年度より、専門科目として二つの学科にまたがり開講される授業科目が増加しています（本履修案内文学部規定別表2、時間割・教室割表、並びにWEBシラバスに掲載）。これらの科目は、登録されたいずれの学科においても専門科目として履修、修得し卒業単位として算入することができます。ただし、新規に追加された授業科目については、平成24年度以降に単位を修得する場合のみ、専門科目への算入が可能です。なお、これらの科目を履修する場合、履修要件等の具体的な内容については、授業担当者に尋ねるようになしてください。

上記措置の実施に伴い、平成23年度まで「他学科開講指定文学部共通科目一覧」に記載されていた下記の3科目が、平成24年度以降、「文学部共通科目」の卒業単位として算入できなくなります。（平成23年度までに当該科目の単位を修得している場合は、従来どおり「文学部共通科目」の単位として算入されます。）

「東アジア地域史a, b」「内陸アジア文化論a, b, c, d」「ユーラシア文化論a, b, c, d」

（注意点）「学科間共通化専門科目」は、「文学部共通科目」（P.30～31参照）及び「西千葉地区共通化専門科目」（P.7～8参照）とは別のものです。

3 各種資格の取得

I 教育職員免許状の取得について

注) 平成21年度以前入学者については、入学年度の履修案内を元に履修をしてください。

文学部を卒業して中学校・高等学校教員になろうとする者は、教育職員免許状に定める科目の単位を修得しなければなりません。詳細については、別途ガイダンスを行うので掲示に注意してください。

文学部で資格を取得できる免許状の種類は次のとおりです。

行 動 科 学 科	中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（公民）
史 学 科	中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）
日 本 文 化 学 科	中学校教諭一種免許状（国語） 高等学校教諭一種免許状（国語）
国際言語文化学科	中学校教諭一種免許状（英語） 高等学校教諭一種免許状（英語）

所属する学科の上記免許状についてのみ、大学から一括申請が可能です。一括申請した学生は卒業時に免許状を受理することが可能です。所定の単位を修得していれば、卒業後に個人申請をすることも可能です。（県への一括申請、個人申請は別途有料となります）

必要資格および単位

	必要資格	教科に関する単位	教職に関する単位	教科又は教職に関する単位
中学校教諭一種免許状	学士の学位	20	31	8
高等学校教諭一種免許状	学士の学位	20	23	16

教育職員免許状取得希望者が履修すべき科目

a. 教科に関する科目

教科に関する科目（後掲）に指定された授業科目から、合計20単位以上を履修すること。他学科・他学部で開講されるものもあります。

b. 教職に関する科目

教育学部で開講される当該授業科目を履修し、次表の単位を充足すること。ただし「教育実習（事前・事後指導を含む）」は、文学部で開講します。「教職実践演習」については、4年後期に履修しなければなりません。卒業論文等との兼ね合いを十分に考えて履修してください。

c. 教科又は教職に関する科目

「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」のうち、最低修得単位を超えて履修した単位を用います。

後述の『教育職員免許状（高等学校教諭一種）の履修についての注意点』（35ページ）を併せて参照してください。

d. その他（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目）

a～cまでに加え、以下の単位を修得しなければなりません。

免許法施行規則に定める科目・単位数		左記に対応する開設授業科目		
科目	単位数	科目	単位数	備考
日本国憲法	2	憲法	2	
体育	2	スポーツ・健康科目	1	2種目2単位履修。同一種目不可
外国語コミュニケーション	2	英語Ⅰ CALL英語 英語Ⅱ 中級英語Ⅰ、Ⅱ 上級英語 海外研修英語 海外研修英語文化	2 2 1 2 2 4 2	1科目以上2単位選択必修
情報機器の操作	2	情報リテラシー科目	2	

教職に関する科目表

教職に関する専門教育科目	教育職員免許法に定める最低修得単位		千葉大学文学部の定める修得単位			
	免許状の種類		左記に対応する開設授業科目	単位数		
	中一免	高一免		中学校	高等学校	
教職員の意義等に関する科目	2	2	現代教職論	2	2	
教育の基礎理論に関する科目	6	6	教育学概論 教育心理学 教育制度論	2 2 2	2 2 2	
教育課程及び指導法に関する科目	12	6	教育学 教育課程論 教科教育法（※1） 道徳教育 教育方法論、特別活動論	2 6 2 2	2 2 0 2	
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4	4	教育学部 生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ 生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ 臨床教育実践（※2）	2 2 2	2 2 2	
教育実習	5	3	教育学部 事前・事後指導 教育実習	1 4	1 2	
教職実践演習	2	2	教育学部 教職実践演習（中・高）	2	2	
合計	31	23		31	23	

（※1）教科教育法の具体的な開設科目は、取得しようとする免許の種類によって異なります。詳細は掲示にて確認してください。

（※2）平成24年度以前入学学生は履修不可。

●介護等体験

中学校教諭一種免許状を取得しようとする者には、「介護等体験」が義務づけられています。下記のような要領で実施される予定です。詳細については、掲示やガイダンスで周知します。

1. 対象年次 2年次
2. 期間 7日間（社会福祉施設5日間，特別支援学校2日間）
3. 募集期間 2年次の学年初め
4. 実施施設 文部科学大臣が厚生労働大臣と協議して定める施設
5. 費用 経費の徴収があります。
6. その他 介護等体験をしなくても良い者
 - ① 介護等に関する専門的知識及び技術を有すると認められる者
 - ② 身体上の障害により介護等の体験を行うことが困難な者

●教職に関する科目等の履修について

原則として、3年次までに「教職実践演習」を除くすべての「教職に関する科目」を修得し、普遍教育科目の卒業要件単位を満たし、既修得単位の合計が90単位以上（所属学部・学科の専門教育科目修得単位が40単位以上であることを含む。）でなければ、教育実習を行うことはできません。

「教職に関する科目」及び教職に必要な各科目の修得単位については、取りこぼしのないよう各自で入学時の履修案内を熟読し、確認してください。また開講時期が前期のみ、あるいは後期のみとなっている科目もあるので、事前に時間割をよく確認のうえ履修計画を立てるようにしましょう。単位修得にあたっては、最低修得単位数を満たすのみではなく、履修単位数に余裕をもって履修計画を立ててください。なお履修にあたり不明な点は学務グループに相談してください。

《特に留意すべき点》

- 「教科又は教職に関する単位（中学は8単位、高校は16単位）」についても不足なく修得できているか（余剰単位の履修）。
- 「教科に関する科目」について、教育科目表の科目区分に沿って不足ないように履修しているかどうか。
- 免許法施行規則第66条の6に定める科目の単位を修得しているかどうか。

●教育職員免許状（高等学校教諭一種）の履修についての注意点

「教科又は教職に関する科目」について、最低修得単位を超えて履修した「教職に関する科目」を充当することは、以下の場合に限って可能です。

免許の種類	「教科又は教職に関する科目」として充当できる「教職に関する科目」
高等学校一種免許状 （地理歴史）（公民）	「教育実習」を5単位修得した場合の余剰単位2単位分
高等学校一種免許状 （国語）（英語）	①「教育実習」を5単位修得した場合の余剰単位2単位分 ②当該教科の「教科教育法」を2単位を越えて修得した場合における余剰単位

「公民」、「地理歴史」の免許状を取得しようとする場合には、中学校「社会」の免許状取得のために履修した「教科教育法」の単位を「教科又は教職に関する科目」に充当することはできません。

「教科又は教職に関する科目」の履修については、可能な限り、「教科に関する科目」によって単位を修得してください。十分に履修単位に余裕をもって履修計画を立ててください。

その他、具体的な履修方法については、必ず、各自入学年度の「文学部履修案内」により確認してください。

●「教職実践演習」について

平成22年度入学の学生から「教職実践演習」が必修科目となりました。4年後期に履修することが定められていますので、それ以前に単位を修得することはできません。また「教職実践演習」の新設に伴い、平成22年度入学の学生から「履修カルテ」に必要事項を記入のうえ提出し、履修状況の確認を受ける必要があります。「履修カルテ」は2年次に配布します。詳細は教職ガイダンスで説明しますので必ず出席してください。

い。なお、平成21年度以前入学者向け「総合演習」を履修しても「教職に関する科目」の単位にはならないので注意してください。

※教職履修者の主なスケジュール

(行事、日程については変更になる場合があります。常に教職科目掲示板で確認してください。)

1年次	4月	資格取得ガイダンス
2年次	4月	介護等体験ガイダンス・教職ガイダンス（「履修カルテ」等について）
	6月頃～翌年2月頃	各自介護等体験実施
3年次	4月	教育実習ガイダンス
	5月～	各自実習希望校へ行き内諾を得る
	9月下旬	学内事前指導……ビデオによる学習
	10月	「教育実習登録票」提出
	11月～	実習校へ教育実習依頼状を発送
4年次	4月	教育実習直前ガイダンス (教育学部教育実習担当教員による講話等)
	5月～	本実習（授業観察実施は各実習校による）
	実習後	事後指導……指導教員との個別研修
	後期	「教職実践演習（中・高）」履修
	10月～12月	一括申請手続
	3月	卒業時に免許状交付

「教科に関する科目」一覧表

行動科学科において免許状の取得希望者が履修すべき教科（専門科目）

中 一 免 「社 会」				高 一 免 「公 民」			
免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目		免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目	
科 目	単位数	授 業 科 目	単位数	科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
日本史及び外国史	4～	日 本 史 概 説 a } 日 本 史 概 説 b }	いずれか1 科目2単位 を選択必修	/			
		世 界 史 基 礎 a } 世 界 史 基 礎 b }					
		文化財学概説 a,b	各2				
		日本古代史 a,b	各2				
		日本中世史 a,b	各2				
		日本近世史 a,b	各2				
		日本近代史 a,b	各2				
		日本現代史 a,b	各2				
		日本美術史 a,b	各2				
		地域考古学 a,b	各2				
		比較考古学 a,b	各2				
		先史考古学 a,b	各2				
		歴史考古学 a,b	各2				
		歴史社会学 a,b	各2				
		情報社会史 a,b	各2				
		アジア史概説 a,b	各2				
		東アジア史概説 a,b	各2				
		ヨーロッパ・アメリカ史概説 a,b	各2				
		宗教文化史 a	2				
		アジア思想史 a	2				
		図像情報史学概説 a,b	各2				
		図像解釈学 a,b	各2				
		マイノリティー史 a,b	各2				
		東アジア地域史 a,b	各2				
		イスラーム地域史 a,b	各2				
		中東・北アフリカ近現代社会論 a,b	各2				
		北アメリカ地域史 a,b	各2				
		地中海地域史 a,b	各2				
		東ヨーロッパ地域史 a,b	各2				
		西ヨーロッパ地域史 a,b	各2				
アジア・アフリカ植民地史論 a,b	各2						
比較社会史 a,b	各2						
東南アジア地域史 a,b	各2						
地理学 (地誌を含む。)	6～	人 文 地 理 学 a } 人 文 地 理 学 b }	いずれか1 科目2単位 を選択必修				
		自 然 地 理 学 a } 自 然 地 理 学 b }					
		地 誌 a } 地 誌 b }	いずれか1 科目2単位 を選択必修				
「法学, 政治学」	2～	政 治 学 入 門	2単位必修	「法学(国際法を含む。), 政治学(国際政治を含む。)」	6～	政 治 学 入 門	2単位必修
		国 際 政 治 I	2			国 際 政 治 I	2単位必修
		国 際 政 治 II	2			国 際 政 治 II	2単位必修
		憲 法 B	2			憲 法 B	2
		民 法 総 論	4			民 法 総 論	4
		物 権 法	2			物 権 法	2

中 一 免 「社 会」				高 一 免 「公 民」			
免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目		免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目	
科 目	単位数	授 業 科 目	単位数	科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
「法律学, 政治学」		債権総論・担保物権法	4	「法律学(国際法を含む。), 政治学(国際政治を含む。)」		債権総論・担保物権法	4
		債 権 各 論	4			債 権 各 論	4
		刑 法 A	4			刑 法 A	4
		親 族 ・ 相 続 法	4			親 族 ・ 相 続 法	4
		商 取 引 法	4			商 取 引 法	4
		会 社 法	4			会 社 法	4
		企 業 法 特 論	2			企 業 法 特 論	2
		労 働 法	4			労 働 法	4
		経 済 法	4			経 済 法	4
		行 政 学	4			行 政 学	4
		国 際 統 合 論	2			国 際 統 合 論	2
ヨーロッパ政治史	4	ヨーロッパ政治史	4				
「社会学, 経済学」	2～	社会学基礎 文化人類学基礎	} いずれか1科目2単位を選択必修	「社会学, 経済学(国際経済を含む。)」	2～	社会学基礎 文化人類学基礎	} いずれか1科目2単位を選択必修
		文化人類学概説 a,b	各2			文化人類学概説 a,b	各2
		理論社会学 a,b	各2			理論社会学 a,b	各2
		家族社会学 a,b	各2			家族社会学 a,b	各2
		産業社会学 a,b	各2			産業社会学 a,b	各2
		交通社会学 a	2			交通社会学 a	2
		環境社会学 a	2			環境社会学 a	2
		地域社会学 a,b	各2			地域社会学 a,b	各2
		国際社会学 a	2			国際社会学 a	2
		文化社会学 a,b	各2			文化社会学 a,b	各2
		メディア社会学 a,b	各2			メディア社会学 a,b	各2
		コミュニケーション社会学 a,b	各2			コミュニケーション社会学 a,b	各2
		ジェンダーの社会学 a,b	各2			ジェンダーの社会学 a,b	各2
		社会問題の社会学 a	2			社会問題の社会学 a	2
		生活史の社会学 a,b	各2			生活史の社会学 a,b	各2
		応用社会学 a,b	各2			応用社会学 a,b	各2
		医療と福祉の社会学 a,b	各2			医療と福祉の社会学 a,b	各2
		情報社会論 a,b	各2			情報社会論 a,b	各2
		性の人類学 a	2			性の人類学 a	2
		生態人類学 a,b	各2			生態人類学 a,b	各2
医療人類学 a	2	医療人類学 a	2				
「哲学, 倫理学, 宗教学」	2～	哲学基礎	2単位必修	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	2～	哲学基礎 心理学基礎	} いずれか1科目2単位を選択必修
		価値論 a,b	各2			価値論 a,b	各2
		科学基礎論 a,b	各2			科学基礎論 a,b	各2
		技術論 a,b	各2			技術論 a,b	各2
		科学史 a,b	各2			科学史 a,b	各2
		東洋哲学概説 a,b	各2			東洋哲学概説 a,b	各2
		西洋古代中世哲学 a,b,c,d	各2			西洋古代中世哲学 a,b,c,d	各2
		西洋近世近代哲学 a,b,c,d	各2			西洋近世近代哲学 a,b,c,d	各2
		現代哲学 a,b,c,d	各2			現代哲学 a,b,c,d	各2
		倫理思想史 a,b,c,d	各2			倫理思想史 a,b,c,d	各2
		現代哲学講読 a,b,c,d	各2			現代哲学講読 a,b,c,d	各2
		知識論講読 a,b,c	各2			知識論講読 a,b,c	各2
		行為論講読 a,b,c	各2			現代哲学講読 a,b,c,d	各2

中 一 免 「社会」				高 一 免 「公民」			
免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目		免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目	
科 目	単位数	授 業 科 目	単位数	科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
「哲学, 倫理学, 宗 教学」		文化論講読 a, b, c 東洋哲学講読 a, b, c, d	各2 各2	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」		知識論講読 a, b, c 行為論講読 a, b, c 文化論講読 a, b, c 東洋哲学講読 a, b, c, d 知覚心理学 a, b 認知心理学 a, b 高次認知論 a, b 人格心理学 a, b 社会心理学 a, b 言語情報処理論 a, b 認知行動基礎論 a, b 比較認知論 a, b データ解析基礎論 a, b 知的情報処理論 a, b	各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2
合 計	20		必修16単位 選択4単位	合 計	20		必修10単位 選択10単位

(注1) ゴシック表記の授業科目は、必修または選択必修科目です。指定された授業科目並びに単位数を必ず修得してください。

(注2) 中学校1種免許状で指定されている「教科に関する科目」の最低修得単位数は20単位ですが、これに加えて「教科又は教職に関する科目」8単位分修得する必要があります。上表からは、合計28単位分を修得してください。

(注3) 高等学校1種免許状で指定されている「教科に関する科目」の最低修得単位数は20単位ですが、これに加えて「教科又は教職に関する科目」16単位分修得する必要があります。「教科又は教職に関する科目」は、「教職に関する科目」からも一定単位数分充当することが可能ですが、なるべく上表の科目から16単位分修得してください。(35ページの記述を参照。)

史学科において免許状の取得希望者が履修すべき教科(専門科目)

中 一 免 「社会」				高 一 免 「地理歴史」			
免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目		免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目	
科 目	単位数	授 業 科 目	単位数	科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
日本史及び外国史	4～	日本史概説 a	いずれか1 科目2単位 を選択必修	日本史	2～	日本史概説 a	いずれか1 科目2単位 を選択必修
		日本史概説 b				日本史概説 b	
		世界史基礎 a	いずれか1 科目2単位 を選択必修			文化財学概説 a, b	各2
		世界史基礎 b				日本古代史 a, b	各2
		文化財学概説 a, b	各2			日本中世史 a, b	各2
		日本古代史 a, b	各2			日本近世史 a, b	各2
		日本中世史 a, b	各2			日本近代史 a, b	各2
		日本近世史 a, b	各2			日本現代史 a, b	各2
		日本近代史 a, b	各2			日本美術史 a, b	各2
		日本現代史 a, b	各2			地域考古学 a, b	各2
		日本美術史 a, b	各2			比較考古学 a, b	各2
		地域考古学 a, b	各2			先史考古学 a, b	各2
		比較考古学 a, b	各2			歴史考古学 a, b	各2
		先史考古学 a, b	各2			歴史社会学 a, b	各2
		歴史考古学 a, b	各2			情報社会史 a, b	各2
		歴史社会学 a, b	各2			アジア史概説 a, b	各2
		情報社会史 a, b	各2			東アジア史概説 a, b	各2
		アジア史概説 a, b	各2			ヨーロッパ・アメリカ史概説 a, b	各2
		東アジア史概説 a, b	各2			宗教文化史 a	2
		ヨーロッパ・アメリカ史概説 a, b	各2				

中 一 免 「社 会」				高 一 免 「地理歴史」			
免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目		免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目	
科 目	単位数	授 業 科 目	単位数	科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
日本史及び外国史		アジア思想史 a	2	外国史		宗教文化史 a	2
		図像情報史学概説 a,b	各2			アジア思想史 a	2
		図 像 解 釈 学 a,b	各2			図 像 解 釈 学 a,b	各2
		マイノリティー史 a,b	各2			マイノリティー史 a,b	各2
		東アジア地域史 a,b	各2			東アジア地域史 a,b	各2
		イスラーム地域史 a,b	各2			イスラーム地域史 a,b	各2
		中東・北アフリカ近現代社会論 a,b	各2			中東・北アフリカ近現代社会論 a,b	各2
		北アメリカ地域史 a,b	各2			北アメリカ地域史 a,b	各2
		地中海地域史 a,b	各2			地中海地域史 a,b	各2
		東ヨーロッパ地域史 a,b	各2			東ヨーロッパ地域史 a,b	各2
		西ヨーロッパ地域史 a,b	各2			西ヨーロッパ地域史 a,b	各2
		アジア・アフリカ植民地史論 a,b	各2			アジア・アフリカ植民地史論 a,b	各2
		比較社会史 a,b	各2			比較社会史 a,b	各2
		東南アジア地域史 a,b	各2			東南アジア地域史 a,b	各2
地理学 (地誌を含む。)	6～	人 文 地 理 学 a } 人 文 地 理 学 b }	いずれか1 科目2単位 を選択必修	人文地理学及び自 然地理学	4～	人 文 地 理 学 a } 人 文 地 理 学 b }	いずれか1 科目2単位 を選択必修
		自 然 地 理 学 a } 自 然 地 理 学 b }	いずれか1 科目2単位 を選択必修			自 然 地 理 学 a } 自 然 地 理 学 b }	いずれか1 科目2単位 を選択必修
		地 誌 a } 地 誌 b }	いずれか1 科目2単位 を選択必修	地誌	2～	地 誌 a } 地 誌 b }	いずれか1 科目2単位 を選択必修
「法学, 政治学」	2～	政 治 学 入 門	2単位必修	/			
		国 際 政 治 I	2				
		国 際 政 治 II	2				
		憲 法 B	2				
		民 法 総 論	4				
		物 権 法	2				
		債権総論・担保物権法	4				
		債 権 各 論	4				
		刑 法 A	4				
		親 族・相 続 法	4				
		商 取 引 法	4				
		会 社 法	4				
		企 業 法 特 論	2				
		労 働 法	4				
		経 済 法	4				
		行 政 学	4				
		国 際 統 合 論	2				
		ヨーロッパ政治史	4				
「社会学, 経済学」	2～	社 会 学 基 礎 } 文 化 人 類 学 基 礎 }	いずれか1 科目2単位 を選択必修	/			
		社 会 学 概 説 a,b	各2				
		文 化 人 類 学 概 説 a,b	各2				
		理 論 社 会 学 a,b	各2				
		家 族 社 会 学 a,b	各2				
		産 業 社 会 学 a,b	各2				
		交 通 社 会 学 a	2				
		環 境 社 会 学 a	2				
		地 域 社 会 学 a,b	各2				
		国 際 社 会 学 a	2				

中 一 免 「社会」				高 一 免 「地理歴史」			
免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目		免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目	
科 目	単位数	授 業 科 目	単位数	科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
「社会学, 経済学」		文化社会学 a,b	各2	/			
		メディア社会学 a,b	各2				
		コミュニケーション社会学 a,b	各2				
		ジェンダーの社会学 a,b	各2				
		社会問題の社会学 a	2				
		生活史の社会学 a,b	各2				
		応用社会学 a,b	各2				
		医療と福祉の社会学 a,b	各2				
		情報社会論 a,b	各2				
		性の人類学 a	2				
		生態人類学 a,b	各2				
医療人類学 a	2						
「哲学, 倫理学, 宗 教学」	2～	哲 学 基 礎	2単位必修				
		論理学の哲学 a,b	各2				
		価値論 a,b	各2				
		科学基礎論 a,b	各2				
		技術論 a,b	各2				
		科学史 a,b	各2				
		東洋哲学概説 a,b	各2				
		西洋古代中世哲学 a,b,c,d	各2				
		西洋近世近代哲学 a,b,c,d	各2				
		現代哲学 a,b,c,d	各2				
		倫理思想史 a,b,c,d	各2				
		現代哲学講読 a,b,c,d	各2				
		知識論講読 a,b,c	各2				
		行為論講読 a,b,c	各2				
文化論講読 a,b,c	各2						
東洋哲学講読 a,b,c,d	各2						
合 計	20		必修16単位 選択4単位	合 計	20		必修10単位 選択10単位

- (注1) ゴシック表記の授業科目は、必修または選択必修科目です。指定された授業科目並びに単位数を必ず修得してください。
- (注2) 中学校1種免許状で指定されている「教科に関する科目」の最低修得単位数は20単位ですが、これに加えて「教科又は教職に関する科目」8単位分修得する必要があります。上表からは、合計28単位分を修得してください。
- (注3) 高等学校1種免許状で指定されている「教科に関する科目」の最低修得単位数は20単位ですが、これに加えて「教科又は教職に関する科目」16単位分修得する必要があります。「教科又は教職に関する科目」は、「教職に関する科目」からも一定単位数分充たすことが可能ですが、なるべく上表の科目から16単位分修得してください。35ページの記述を参照。）

日本文化学科において免許状の取得希望者が履修すべき教科（専門科目）

中 一 免 「国語」				高 一 免 「国語」			
免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目		免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目	
科 目	単位数	授 業 科 目	単位数	科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
国語学（音声言語 及び文章表現に関 するものを含む。）	4～	言語学概説 a } 言語学概説 b }	いずれか1 科目2単位 を選択必修	国語学（音声言語 及び文章表現に関 するものを含む。）	4～	言語学概説 a } 言語学概説 b }	いずれか1 科目2単位 を選択必修
		音声学 a } 音声学 b }				いずれか1 科目2単位 を選択必修	
		日本語学概説 a,b	各2				日本語学概説 a,b
		日本語史 a,b	各2			日本語史 a,b	各2
		日本文法論 a,b,c,d	各2			日本文法論 a,b,c,d	各2

中 一 免 「国 語」				高 一 免 「国 語」			
免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目		免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目	
科 目	単位数	授 業 科 目	単位数	科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
国語学（音声言語 及び文章表現に関 するものを含む。）		古代日本語論 a,b,c,d 近代日本語論 a,b,c,d 現代日本語論 a,b,c,d 日本地域言語学音韻論 a,b,c,d 日本地域言語学形態論 a,b,c,d 日本語教育方法論 a,b 古代日本語演習 a,b,c,d 近代日本語演習 a,b,c,d 現代日本語演習 a,b,c,d 日本地域言語学音韻論演習 a,b,c,d 日本地域言語学形態論演習 a,b,c,d 日本文法演習 a,b,c,d アイヌ語学演習 a,b,c,d	各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2	国語学（音声言語 及び文章表現に関 するものを含む。）		古代日本語論 a,b,c,d 近代日本語論 a,b,c,d 現代日本語論 a,b,c,d 日本地域言語学音韻論 a,b,c,d 日本地域言語学形態論 a,b,c,d 日本語教育方法論 a,b 古代日本語演習 a,b,c,d 近代日本語演習 a,b,c,d 現代日本語演習 a,b,c,d 日本地域言語学音韻論演習 a,b,c,d 日本地域言語学形態論演習 a,b,c,d 日本文法演習 a,b,c,d アイヌ語学演習 a,b,c,d	各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2
国文学（国文学史 を含む。）	4～	日本文学史 a 日本文学史 b 日本文学史 c 日本文学史 d 日本文学史 e 日本文学史 f 日本文学史 g 日本文学史 h 日本文学講読 a,b 伝承文学論 a,b 古代文学論 a,b,c,d 中世文学論 a,b,c,d 近世文学論 a,b,c,d 近代文学論 a,b,c,d 現代文学論 a,b 伝承文学論演習 a,b 古代文学論演習 a,b,c,d 中世文学論演習 a,b,c,d 近世文学論演習 a,b,c,d 近代文学論演習 a,b,c,d 現代文学論演習 a,b	いずれか2 科目4単位 を選択必修 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2	国文学（国文学史 を含む。）	4～	日本文学史 a 日本文学史 b 日本文学史 c 日本文学史 d 日本文学史 e 日本文学史 f 日本文学史 g 日本文学史 h 日本文学講読 a,b 伝承文学論 a,b 古代文学論 a,b,c,d 中世文学論 a,b,c,d 近世文学論 a,b,c,d 近代文学論 a,b,c,d 現代文学論 a,b 伝承文学論演習 a,b 古代文学論演習 a,b,c,d 中世文学論演習 a,b,c,d 近世文学論演習 a,b,c,d 近代文学論演習 a,b,c,d 現代文学論演習 a,b	いずれか2 科目4単位 を選択必修 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2
漢文学	2～	中国文学論 a 中国文学論 b 中国文学演習 a,b	いずれか1 科目2単位 を選択必修 各2	漢文学	2～	中国文学論 a 中国文学論 b 中国文学演習 a,b	いずれか1 科目2単位 を選択必修 各2
書道 (書写を中心とする。)	2	中学校書写 I 中学校書写 II	1単位必修 1単位必修				
合 計	20		必修12単位 選択8単位	合 計	20		必修10単位 選択10単位

(注1) ゴシック表記の授業科目は、必修または選択必修科目です。指定された授業科目並びに単位数を必ず修得してください。

(注2) 中学校1種免許状で指定されている「教科に関する科目」の最低修得単位数は20単位ですが、これに加えて「教科又は教職に関する科目」8単位分修得する必要があります。上表からは、合計28単位分を修得してください。

(注3) 高等学校1種免許状で指定されている「教科に関する科目」の最低修得単位数は20単位ですが、これに加えて「教科又は教職に関する科目」16単位分修得する必要があります。「教科又は教職に関する科目」は、「教職に関する科目」からも一定単位数分充当することが可能ですが、なるべく上表の科目から16単位分修得してください。(35ページの記述を参照。)

国際言語学科において免許状の取得希望者が履修すべき教科（専門科目）

中 一 免 「英 語」				高 一 免 「英 語」			
免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目		免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目	
科 目	単位数	授 業 科 目	単位数	科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
英語学	2～	英 語 学 概 説 a } 英 語 学 概 説 b } 英 文 法 a,b 英 語 音 声 学 a,b 英 語 史 a,b 生成文法理論演習 a,b,c,d 英 語 学 演 習 a,b,c,d	いずれか1 科目2単位 を選択必修 各2 各2 各2 各2 各2	英語学	2～	英 語 学 概 説 a } 英 語 学 概 説 b } 英 文 法 a,b 英 語 音 声 学 a,b 英 語 史 a,b 生成文法理論演習 a,b,c,d 英 語 学 演 習 a,b,c,d	いずれか1 科目2単位 を選択必修 各2 各2 各2 各2 各2
英米文学	2～	イギリス文学史 a } イギリス文学史 b } イギリス文学概説 a,b イギリス文学演習 a,b,c,d アメリカ文学史 a,b アメリカ小説論 a,b アメリカ文学演習 a,b,c,d アメリカ小説論演習 a,b,c,d	いずれか1 科目2単位 を選択必修 各2 各2 各2 各2 各2 各2	英米文学	2～	イギリス文学史 a } イギリス文学史 b } イギリス文学概説 a,b イギリス文学演習 a,b,c,d アメリカ文学史 a,b アメリカ小説論 a,b アメリカ文学演習 a,b,c,d アメリカ小説論演習 a,b,c,d	いずれか1 科目2単位 を選択必修 各2 各2 各2 各2 各2 各2
英語コミュニケーション	4～	英 会 話 I a } 英 会 話 I b } 英 作 文 I a } 英 作 文 I b } 英 会 話 II a,b 英 作 文 II a,b 芸術メディア論演習 a,b,c,d	いずれか1 科目2単位 を選択必修 いずれか1 科目2単位 を選択必修 各2 各2 各2	英語コミュニケーション	4～	英 会 話 I a } 英 会 話 I b } 英 作 文 I a } 英 作 文 I b } 英 会 話 II a,b 英 作 文 II a,b 芸術メディア論演習 a,b,c,d	いずれか1 科目2単位 を選択必修 いずれか1 科目2単位 を選択必修 各2 各2 各2
異文化理解	2～	英 語 圏 文 化 論 a } 英 語 圏 文 化 論 b } イギリス文化論 a,b アメリカ文化論 a,b 北 米 文 化 論 a,b 広域英語圏文化論 a,b イギリス文化論演習 a,b,c,d アメリカ文化論演習 a,b,c,d	いずれか1 科目2単位 を選択必修 各2 各2 各2 各2 各2 各2	異文化理解	2～	英 語 圏 文 化 論 a } 英 語 圏 文 化 論 b } イギリス文化論 a,b アメリカ文化論 a,b 北 米 文 化 論 a,b 広域英語圏文化論 a,b イギリス文化論演習 a,b,c,d アメリカ文化論演習 a,b,c,d	いずれか1 科目2単位 を選択必修 各2 各2 各2 各2 各2 各2
合 計	20		必修10単位 選択10単位	合 計	20		必修10単位 選択10単位

(注1) ゴシック表記の授業科目は、必修または選択必修科目です。指定された授業科目並びに単位数を必ず修得してください。

(注2) 中学校1種免許状で指定されている「教科に関する科目」の最低修得単位数は20単位ですが、これに加えて「教科又は教職に関する科目」8単位分修得する必要があります。上表からは、合計28単位分を修得してください。

(注3) 高等学校1種免許状で指定されている「教科に関する科目」の最低修得単位数は20単位ですが、これに加えて「教科又は教職に関する科目」16単位分修得する必要があります。「教科又は教職に関する科目」は、「教職に関する科目」からも一定単位数分充当することが可能ですが、なるべく上表の科目から16単位分修得してください。(35ページの記述を参照。)

II 学芸員資格の取得について

学芸員とは、博物館・美術館などにおける資料の収集・保管，展示，調査研究などにかかわる専門職です。学芸員の資格を得ようとする者は、「博物館法」に定める科目を修得しなければなりません。学芸員の資格は、学士の学位を持つ者で大学において博物館に関する科目の単位を修得した者に与えられます。学芸員資格取得証明書を必要とする場合は、文学部学務グループが定める所定の期間において、窓口で申請し、交付を受けてください。（原則として一度しか交付しませんので原本は大切に保管してください。）

1) 履修方法（平成24年度以降入学学生対象〈平成24年度以降入学の編入学生含む〉）

大学において履修すべき博物館に関する科目（「博物館法」科目）と必要単位は、合計19単位必要です。本学では、これらに対応する授業科目を複数の学部等で開講しています。

「博物館法」に定める科目	必要単位	本学開講授業科目	受講対象	単位	開講学部等	
生涯学習概論	2	生涯学習概論		2	教育学部	
博物館概論	2	博物館概論		2	普遍教育	
博物館経営論	2	博物館経営論		2	普遍教育	
博物館資料論	2	博物館資料論A～D（※Dは隔年開講） 博物館学 a～b （当面は博物館学 a のみを開講）	このうち、 1科目履修	2	普遍教育	
				2	文学部	
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論		2	普遍教育	
博物館展示論	2	博物館展示論		2	普遍教育	
博物館教育論	2	博物館教育論		2	普遍教育	
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論		2	普遍教育	
博物館実習	3	博物館実習A（自然史系・環境科学系） 博物館実習B（美術系） 博物館学実習 a, b, c（歴史系） ナチュラルヒストリー（自然史系）	このうち、 1科目 3単位 履修	（資料論B D履修者）	3	普遍教育
				（資料論C履修者）	3	普遍教育
				（資料論A又は博物館学 a・b履修者）	3	文学部
				（資料論B D履修者）	3	理学部
計	19	計		19		

※履修にあたっては、千葉大学普遍教育『Guidance 2013』の学芸員資格取得に関わる頁を併せて参照してください。

2) 博物館実習について

1. 博物館実習の履修には、博物館概論，博物館資料論，博物館教育論は修得済みであり，博物館実習Bと博物館学実習c（館園実習）の受講年度には，原則としてすべての博物館法科目の修得が終わっている必要があります。なお，博物館資料論は博物館実習と一致する科目を履修してください。
2. 歴史系の博物館実習は，文学部で開講されている博物館学実習a（実務実習）・博物館学実習b（見学実習）（各1単位）を3年次で履修した後，博物館学実習c（館園実習）（1単位）を4年次で履修してください。博物館学実習cについては，履修の前の年度（3年次）に登録予約（ガイダンス）を行うので注意してください（詳細は掲示します）。
3. 美術系の博物館実習は，3～4年次に博物館実習Bを履修してください。
4. 自然史系と環境科学系の博物館実習Aおよびナチュラルヒストリーについては千葉大学普遍教育『Guidance 2013』の該当頁を参照してください。

3) 平成23年度以前入学者の学芸員資格の取得について

平成23年度以前に入学した学生については、前頁の表によらず、入学年度の「文学部履修案内」に定められている学芸員資格の取得方法に従って、所定の単位を修得してください。卒業までに所定の単位を全て修得すれば、学芸員資格取得に必要な単位を全て充足したものとみなされます。なお、詳細については、『Guidance 2013』の該当頁を併せて参照してください。

Ⅲ 司書資格の取得について

1) 目的・趣旨

司書とは、「図書館法」に基づき、図書館において、図書、記録その他必要な資料を収集、整理、保存、展示、調査研究などの専門的職務に従事する職員です。

「図書館法」は、公共図書館の設置等を定めるものなので、それが規定する司書も、本来は公共図書館に勤務する専門的職員をさしています。しかしながら、初中等学校に勤務する学校図書館司書教諭を除くと、公共図書館以外の図書館（例えば大学図書館）に勤務する専門的職員の資格を規定する制度が存在しないため、司書資格が実質的に様々な種類の図書館における専門的職員のための資格と見なされています。

千葉大学文学部では、このような現状をふまえ、「図書館法施行規則」第4条に基づく司書資格取得のための科目に相当する授業科目を開設するとともに、大学図書館や専門図書館に関する科目、現下の社会の情報化の進展にも対応しうる科目を設置し、社会の要請に応えうる専門的職員の養成をめざすこととしました。

2) 資格取得のための条件

司書となる資格は、「図書館法」第5条の定めによれば、(1)大学を卒業した者で大学において文部科学省令で定める図書館に関する科目を履修したもの、(2)大学又は高等専門学校を卒業した者で次条の規定による司書の講習を修了したもの、(3)次に掲げる職にあつた期間が通算して三年以上になる者で次条の規定による司書の講習を修了したもの：イ) 司書補の職、ロ) 国立国会図書館又は大学若しくは高等専門学校の附属図書館における職で司書補の職に相当するもの、ハ) ロに掲げるもののほか、官公署、学校又は社会教育施設における職で社会教育主事、学芸員その他の司書補の職と同等以上の職として文部科学大臣が指定するものが有するとされています。千葉大学文学部では、この(1)に基づいて開設される科目を履修したものが、司書の資格を取得することができます。

3) 文学部における司書資格取得のための相当科目履修

司書資格の取得には、開講科目一覧表の左欄の「図書館法」科目において、必修科目区分のすべての単位（22単位）と選択科目区分から2単位以上の、あわせて24単位以上の修得が必要です。この条件を満たすように、「図書館法」科目に相当する本学開講科目を履修しなければなりません。

具体的には、本学の開講科目のうち、必修科目に区分されている授業科目のすべてと、選択科目から最低2科目（「図書館法」科目において、異なる科目に対応しているもの）を履修してください。千葉大学文学部のカリキュラムにおいては、次頁の表に定められているとおり、合計30単位以上を修得する必要があります。

開講科目一覧表（平成24年度以降入学学生対象〈平成24年度以降入学の編入学生含む〉）

区分	「図書館法」法令上の科目	必要 単位	本学開講 授業科目	受講対象	単位	開 講 学部等	備考
必修 科目	生涯学習概論	2	生涯学習概論	1年次以上	2	教育学部	
	図書館概論	2	図書館概論	1年次以上	2	普遍教育	
	図書館制度・経営論	2	図書館制度・経営論	2年次以上	2	普遍教育	
	図書館情報技術論	2	図書館情報技術論	2年次以上	2	普遍教育	
	図書館サービス概論	2	公共図書館サービス論	2年次以上	2	普遍教育	
	情報サービス論	2	情報サービス論	2年次以上	2	文学部	
	児童サービス論	2	児童サービス論	2年次以上	2	普遍教育	
	情報サービス演習	2	情報サービス演習	3年次以上	2	文学部	2科目とも必修
			情報検索演習	3年次以上	2	文学部	
	図書館情報資源概論	2	図書館情報資源概論	2年次以上	2	普遍教育	
	情報資源組織論	2	資料・情報組織論	2年次以上	2	文学部	
	情報資源組織演習	2	資料・情報組織演習a	3年次以上	2	文学部	2科目とも必修
資料・情報組織演習b			3年次以上	2	文学部		
選 択 科 目 ※最低2科目履修	図書館基礎特論	1	電子図書館論	2年次以上	2	文学部	
	図書館サービス特論	1	大学図書館論	2年次以上	2	文学部	
	図書館情報資源特論	1	学術情報論	2年次以上	2	普遍教育	
	図書・図書館史	1	書誌学概論	1年次以上	2	普遍教育	
	図書館施設論	1					
	図書館総合演習	1					
	図書館実習	1	図書館インターンシップ	3年次以上	2	文学部	
計	24	計			30		

注1：「情報サービス演習」「情報検索演習」の両方を履修する必要があります。

注2：「資料・情報組織演習」については、a・bの両方を履修する必要があります。

注3：演習科目については、履修者が多い場合には受講生を制限することがあります。制限が必要となった場合には、その方法などについて別途通知します。

注4：授業科目の開講時期は、年度ごとに異なるため、毎年度開講学部等に確認のうえ、履修計画を立ててください。

4) 履修方法

図書館に関する科目は、概ね2年間（学部の2年次～3年次が望ましい）で履修することを想定して開設されています。一部の普遍教育開講科目については1年次からの履修も可能です。

必修科目のうち、「図書館概論」（普遍教育）は、最初に履修すべき科目です。また科目の連続性を考慮し、以下の6科目については、履修年次を以下のように定めます。

初 年 度	次 年 度（3年次以降）
情 報 サ ー ビ ス 論	情 報 サ ー ビ ス 演 習 情 報 検 索 演 習
資 料 ・ 情 報 組 織 論	資 料 ・ 情 報 組 織 演 習 a 資 料 ・ 情 報 組 織 演 習 b

また選択科目については、なるべく多くの授業科目を履修することを推奨します。

5) 履修上の注意

演習科目については、履修希望者が多い場合には受講生を制限することがあります。制限が必要となった場合には、その方法などについて別途通知します。

6) 証明書の交付

司書資格の取得には、大学の卒業が求められるため、司書資格に必要なすべての単位を修得した者で、単位取得の証明書を必要とするものは、4年次の後期に文学部学務グループに申請し、交付を受けて下さい。（申請期間については、別途掲示します。）なお、証明書は原則として1度しか交付しないので、原本は大事に保管して下さい。

7) 平成23年度以前入学者の司書資格の取得について

平成23年度以前に入学した学生については、前項までの履修方法によらず、入学年度の「文学部履修案内」に定められている図書館司書資格の取得方法に従って、所定の単位を修得してください。卒業までに所定の単位を全て修得すれば、図書館司書資格取得に必要な単位を全て充足したものとみなされます。なお、詳細については、『Guidance 2013』の当該頁を併せて参照してください。

IV 日本語教育コースについて

日本語を外国語あるいは第二言語として教育することをめざす学生のため、文学部では文部科学省の示した副専攻モデルに準じた日本語教育コースを設定しています。どの学科の学生でも次の表に示された所定の単位を修得すれば、修了証を得ることができます。

ただし、これは日本語教育に携わる「資格」を公的に認定するものではなく、日本語教育に携わるのに必要とされる基礎的な教育を受けたことを証するものです。

なお、公的な検定試験としては、財団法人日本国際教育支援協会の主催する「日本語教育能力検定試験」があるので、受験を希望する学生は各自で準備するようにして下さい。

○修了証の交付について

本コースの修了は大学の卒業が求められるため、本コースに必要なすべての単位を修得した者で、修了証を必要とするものは、4年次の後期に文学部学務グループに申請し、交付を受けてください。（申請期間については別途掲示します。）なお、証明書は原則として1度しか交付しないので、原本は大事に保管してください。

日本語教育コース必要単位一覧

区 分	授 業 科 目	単位数	備 考
日本語教育もしくは言語教育に関する科目	日本語教育方法論 a,b 日本語教育方法論演習 a,b 日本語授業演習 a,b 第二言語習得論 a,b	12単位	日本語教育方法論 a,b および同演習 a,b は必修。
日本語の構造に関する科目	日本語学概説 a,b 日本文法論 a,b,c,d 現代日本語論 a,b,c,d 現代日本語演習 a,b,c,d	6単位	
言語およびコミュニケーションに関する科目	言語学概説 a,b 音 声 学 a,b 社会言語学 a,b 異文化間コミュニケーション論 a,b 多言語多文化接触論 a,b 多言語多文化接触論演習 a,b,c,d	4単位	平成24年度以前に入学した者は、多言語多文化接触論演習を異文化間コミュニケーション論演習に読み替えることが出来る。
社会・文化・日本社会・日本文化・文化交流等に関する科目	心理学基礎 日本史概説 a,b 日本文学史 a,b,c,d,e,f,g,h 比較文化概説 a,b	4単位	
合 計		26単位	

IV 時間割・教室割表

時間割表記上、ゴシック表記がされている教員は非常勤講師です。非常勤講師は授業のある時間帯しか大学にいません。用事がある場合は、授業終了直後に、直接コンタクトを取るようになしてください。(学務グループの窓口で非常勤講師の連絡先を教えることはできません。)

(前期)

	月曜1限	月曜2限	月曜3限	月曜4限	月曜5限	月曜6限
文 学 部 共 通						
行 動 科 学	言語情報処理論a (伝康晴/共演3)	言語認知情報学演習a (伝康晴/共演3) 哲学基礎演習(読解)a (和泉ちえ/共演2) 比較認知論a (長坂泰勇/演16)	現代哲学a (山田圭一/102講義室) 社会学原書講読a (米村千代/演16) 知識情報科学演習a (阿部明典/共演2) 心理学基礎演習a (須藤昇, 柳淳二/演21, 演22) 民族誌a (高橋絵里香/院演1)	心理学初級実験a (心理学講座全教員/演21, 院演2) 心理学研究法a (心理学講座全教員/102講義室) 家族社会学b (米村千代/101講義室) 認知情報科学特別実習a (認知情報科学講座全教員/画情2, 共演3) 認知情報科学発展実習a (認知情報科学講座全教員/画情2, 共演3)	現代哲学演習c (山田圭一/演15) 心理学初級実験a (心理学講座全教員/演21, 院演2) 心理学研究法b (心理学講座全教員/102講義室) ユーラシア文化論a (渡辺圭/101講義室) 認知情報科学特別実習a (認知情報科学講座全教員/画情2, 共演3) 認知情報科学発展実習a (認知情報科学講座全教員/画情2, 共演3)	
史 学	図像解釈学a (上村清雄/総合校舎A号館3階視聴覚演習室(A302))	史学方法論a (三宅明正/院講1)	世界史基礎a (大峰真理・栗田禎子・山田賢/106講義室) 東ヨーロッパ地域史a (小沢弘明/院講2) 東南アジア地域史a (岩城高広/206講義室)	歴史情報論演習a (三宅明正/史学演習室) 文書館学b (山田哲好/画情1) 文化財学基礎演習b (池田忍/総合校舎A号館3階視聴覚演習室(A302)) 地中海地域史a (澤井一彰/院講2) 家族社会学b (米村千代/101講義室)	ヨーロッパ古代社会論a (保坂高殿/院講1) 東南アジア社会論演習c (岩城高広/演31) 日本美術史b (池田忍/総合校舎A号館3階視聴覚演習室(A302)) ユーラシア文化論a (渡辺圭/101講義室)	
日 本 文 化		現代日本語演習c (岡部嘉幸/演24) 近世文化論演習a (高木元/演25)	児童文学論b (佐藤宗子/マルチメディア講義室) 近代文学論演習a (大原祐治/演24) 日本語教育方法論a (村岡英裕/院演2) 日本文学史g (高木元/103講義室)	言語学概説a (田口善久/103講義室) 古代日本語演習c (須永哲矢/演24) 近世文化論a (高木元/演25)	現代日本語論c (岡部嘉幸/103講義室) 日本美術史b (池田忍/総合校舎A号館3階視聴覚演習室(A302)) ユーラシア文化論a (渡辺圭/101講義室)	
国 際 言 語 文 化	図像解釈学a (上村清雄/総合校舎A号館3階視聴覚演習室(A302))	独語a (水上藤悦/演21) イギリス文学演習c (篠崎実/共演4) 比較文学論演習a (西村靖敬/人社研棟4階共同研究室2)	英作文I a (Andrew Rayment/院講1) 児童文学論b (佐藤宗子/マルチメディア講義室) 英語学演習c (梶田幸栄/人社研棟4階共同研究室2) 仏語a (西村靖敬/演15)	英会話II a (Andrew Rayment/院講1) ドイツ語演習c (水上藤悦/演31) 言語学概説a (田口善久/103講義室)	英語音声学a (梶田幸栄/画情1)	
資 格 ・ 留 学 生	資料・情報組織演習a (竹内比呂也/マルチメディア講義室)	日本を学ぶa (高民定/院演2)	日本研究入門b (高民定/画情1)			

	火曜1限	火曜2限	火曜3限	火曜4限	火曜5限	火曜6限
文 学 部 共 通	自然地理学b (仁科淳司/102 講義室)					
行 動 科 学		社会学基礎 (出口泰靖, 尾形 隆彰, 片桐雅隆, 米村千代, 清水 洋行, 鶴田幸恵/ 101講義室) 認知情報科学基礎 演習a (実森正子, 伝康 晴/共演1) 西洋近世近代哲学a (忽那敬三/演 24) 芸能人類学a (田森雅一/102講 義室) 社会心理学演習c (小森めぐみ/演15)	比較認知行動論演 習a (実森正子/演16) 文化人類学調査概 説a (小谷真吾/人社研 1F文化人類学 演習室) 科学基礎論演習a (忽那敬三/共演2) 社会調査実習a (清水洋行/院講2) 倫理思想史b (高橋久一郎/演 24)	データ解析基礎論a (松香敏彦/総合 校舎A号館5階 情報処理演習室 1) 社会調査実習b (清水洋行/院講2) 人格・発達心理学 演習a (若林明雄/演22) 行為論講読c (高橋久一郎/演 24)	東洋哲学講読b (内山直樹/演25) 心理学基礎 (心理学講座全教 員/101講義室) 認知情報解析学演 習a (松香敏彦/画情2) 社会学データ分析 演習a (清水洋行/院講2)	人間探求基礎演習V (文化と生態) (文化人類学講座 教員担当/演23)
史 学		文書学基礎演習a (引野亨輔/共演2) 朝鮮語史料演習a (趙景達/史学演 習室)	図像情報史学概説a (三宅明正/画情1) マイノリティー史 演習a (小沢弘明/院講1) 考古学演習b (柳澤清一/史学 演習室) 中東・北アフリカ 近現代社会論a (栗田禎子/演15) 比較ジェンダー史 演習a (池田忍/総合校 舎A号館3階視聴 覚演習室(A302))	日本現代史a (三宅明正/画情1) 北方先史文化論a (柳澤清一/院演1) 中東史料演習a (栗田禎子/演15) アジア思想史演習c (趙景達/史学演 習室)		
日 本 文 化		フィールド調査法 演習c (児玉香菜子/演 25) 古代文学論b (兼岡理恵/103 講義室) 社会言語学a (高民定/院講1)	古代文学論演習c (兼岡理恵/演25) 言語体系論演習a (田口善久/演22)	中国・朝鮮言語文 化論b (児玉香菜子/103 講義室) 音韻論a (田端敏幸/102講 義室) 日本語教育方法論 演習b (菊池民子/演16)	東洋哲学講読b (内山直樹/演25)	
国 際 言 語 文 化	ドイツ語史a (石井正人/演25)	オーストリア文学 演習c (水上藤悦/演31) ラテン語演習c (石井正人/演21) 英語学概説a (鎌田浩二/画情 1) 社会言語学a (高民定/院講1)	フランス語演習e (泉利明/演23) 独作文a (石井正人/演14) 演劇論a (篠崎実/人社研 棟4階共同研究 室2) 露語a (鳥山祐介/演31)	フランス文化論a (三井吉俊/院講 1) 現代ドイツ事情a (水上藤悦/演31) 英語圏文化論a (篠崎実/106講 義室) 露語b (鳥山祐介/言語 文化演習室)	ヨーロッパ文化論b (水上, 鳥山, 三 井/画情1) 芸術メディア論演 習c (館美貴子/演31)	
資 格 ・ 留 学 生						

〔前期〕

	水曜1限	水曜2限	水曜3限	水曜4限	水曜5限	水曜6限
文学部 共通		古典ギリシャ語入門c (杉山晃太郎/ 206講義室)				
行動科学		生活史の社会学a (出口泰靖/院講 1) 哲学基礎演習(読 解)b (和泉ちえ/共演 2) 性の人類学b (鈴木伸枝/102 講義室) 知的情報処理論a (阿部明典/院演 2)	西洋古代中世哲学b (和泉ちえ/院講 2) 文化人類学調査実 習a (小谷真吾・高橋 絵里香・鈴木伸 枝/人社研1F 文化人類学演習 室) 知覚心理学演習a (木村英司/演22) 社会学研究法a (片桐雅隆・尾形 隆彰/社会学A ゼミ室, Bゼミ室) 西洋近世近代哲学d (田島正樹/院講 1)	文化人類学調査実 習b (小谷真吾・高橋 絵里香・鈴木伸 枝/人社研1F 文化人類学演習 室) 知覚心理学a (木村英司/画情 1) 倫理学演習c (田島正樹/共演 2) 高次認知論演習a (須藤昇/演14)	認知心理学演習a (一川誠/演16) 文化人類学研究法a (高橋絵里香/院 演1)	
史学		国際関係史演習a (大峰真理/演23) アジア史概説a (岩城高広/101講 義室) 文化財学基礎演習a (柳澤清一/史学 演習室)	地域ジェンダー史a (千葉慶/画情1) 東アジア史概説a (山田賢/102講義 室) 考古学実習b (柳澤清一・山田 俊輔/史学演習 室)		日本中世史a (竹井英文/102 講義室)	
日本文化	言語機能論演習b (菅野憲司/院演 3)	ユーラシア民族文 化論演習a (吉田睦/演25) 異文化間コミュニ ケーション論a (横田智美/院演 1)	日本語概説a (岡部嘉幸/101講 義室) 言語体系論a (海老原志穂/103 講義室)			
国際言語 文化	古代ギリシア語演習c (加藤隆/演31)	フランス文学演習a (三井吉俊/演15) 比較宗教思想論b (加藤隆/演24) スペイン語学概説a (山口元/演14) 英語史a (鎌田浩二/共演 1)	独語e (三宅晶子/演21) フランス文学演習d (土田知則/演24) 西語c (山口元/演14) 言語体系論a (海老原志穂/103 講義室)	イメージ文化論演習a (三宅晶子/演21) 文学理論概説a (土田知則/102 講義室) 西洋中世語演習c (石井正人/演15) アメリカ文化論a (館美貴子/103講 義室) 英書講読a (鎌田浩二/院講 2) ロシア語演習a (鳥山祐介/演31)	アメリカ文化論演習a (館美貴子/演21) 比較文化概説a (鴻野わか菜(世 話人), 西村靖 敬, 加藤隆, 鳥 山祐介, 高民定, Andrew Rayment/ 画情1)	
資格・ 留 学 生	資料・情報組織演 習b (竹内比呂也/マ ルチメディア講義 室)					

	木曜1限	木曜2限	木曜3限	木曜4限	木曜5限	木曜6限
文学部 共通	サンスクリット語 入門a (石井正人/演24)	精神医学a (橘川清人/206 講義室) 応用倫理学の基礎 (高橋久一郎/総合 校舎D号館D51 教室)	人文科学の現在8 (今井祥子, 畠山 望, 遠藤郁子, 大野晋司(世話 人篠崎実)/106 講義室)			
行動科学	心理学上級実験a (心理学講座全教 員/画情1, 演 21, 演22) 心理学中級実験a (心理学講座全教 員/画情1, 演 21, 演22) 認知情報科学基礎 実習a (認知情報科学講 座全教員/画情 2, 院演1)	社会学演習a (出口泰靖, 尾形 隆彰, 片桐雅隆, 米村千代, 清水 洋行, 鶴田幸恵/ 演15, 演16) 心理学上級実験a (心理学講座全教 員/画情1, 演 21, 演22) 心理学中級実験a (心理学講座全教 員/画情1, 演 21, 演22) 認知情報科学基礎 実習a (認知情報科学講 座全教員/画情 2, 院演1) 文化人類学演習a (鈴木伸枝/人社 研1F文化人類 学演習室)			先進教養セミナー (前期) (行動科学科全教 員/各担当教員 の指示による)	
史学		歴史学入門a (上村清雄・栗田 禎子・引野亨輔/ 共演1, 共演2, 共演3)		ヨーロッパ中世社 会論b (成川岳大/院講 2)		
日本文化	日本文化学研究法b (吉田睦, 兒玉香 菜子, 兼岡理恵, 柴佳世乃, 高木 元, 大原祐治/ 103講義室) 言語機能論b (菅野憲司/院演 3)	日本文化学入門a (日本文化学科全 教員/103講義 室)		古代日本語論c (藤本灯/102講義 室)	日本文学講読b (家永香織/102 講義室) 日本地域言語学音 韻論演習b(隔週, 通期科目) (竹田晃子/演25) 言語学基礎演習a (菅野憲司/院演 3)	
国際言語 文化		アメリカ文学史a (河田英介/院講 2) 仏作文a (Gaetan Moreau/ 演24) 国際言語文化学入 門a (学科全教員/人 社研棟4階共同 研究室2)	仏会話c (Gaetan Moreau/ 演25)	西会話a (Angel Poveda/ 演31)	西会話c (Angel Poveda/ 演31)	
資格・ 留學生				情報サービス論 (高木和子/マル チメディア講義 室)		

〔前期〕

	金曜1限	金曜2限	金曜3限	金曜4限	金曜5限	金曜6限
文学部 共通	人文地理学b (橋詰直道/101 講義室)		中国文学論b (福本郁子/206 講義室)	ラテン語入門a (石井正人/マル チメディア講義 室)		
行動科学	人間探求基礎演習I (哲学講座/演25) 応用社会学a (山本功/102講義 室)	生態人類学b (小谷真吾/院演 2)	東洋哲学演習c (内山直樹/演31) 社会調査概説a (鶴田幸恵/画情 1)	認知行動基礎論a (実森正子/院講 1) 現代哲学講読a (忽那敬三/演習 15) 文化人類学原書講 読b (深澤秀夫/人社 研1F文化人類 学演習室) コミュニケーション 社会学a (鶴田幸恵/101講 義室)	東洋哲学概説a (内山直樹/102講 義室) 国際社会学b (島村賢一/103講 義室) 文化人類学概説b (深澤秀夫/人社 研1F文化人類 学演習室)	
史学	図像情報史学概説b (上村清雄/画情 1)	図像解釈学演習c (上村清雄/画情 1) 歴史社会学演習a (秋葉淳/演25) 日本思想論b (見城悌治/102 講義室)	イメージ文化論a (安川晴基/マル チメディア講義 室) 先史考古学演習a (山田俊輔/史学 演習室) 東アジア古典語史 料演習c (山田賢/演25) 近世記録史料演習b (引野亨輔/人社 研棟2階マルチ メディア制作室)	ヨーロッパ美術史 演習c (上村清雄, 池田 忍/総合校舎A 号館3階視聴覚 演習室(A302))	日本美術史演習c (池田忍・上村清 雄/総合校舎A 号館3階視聴覚 演習室(A302))	
日本文化		アイヌ語a (中川裕/共演3) 生態人類学b (小谷真吾/院演 2) 中世文化論演習a (柴佳世乃/総 合校舎A号館3 階視聴覚演習室 (A302)) 日本思想論b (見城悌治/102 講義室) 多言語多文化接触 論a (高民定/103講 義室)	アイヌ文化論演習c (中川裕/共演3) ユーラシア文化概 説 (児玉香菜子/画 情2) 近代文学論d (大原祐治/102 講義室)	多言語多文化接触 論演習a (村岡英裕, 高民 定/院演1) 中世文学論a (柴佳世乃/102 講義室) 中国文学演習b (福本郁子/演31)		
国際言語 文化		広域英語圏文化論a (Andrew Rayment/ 演15) 西語a (山口元/演14) 多言語多文化接触 論a (高民定/103講 義室)	英語論文演習a (Andrew Rayment/ 演15) 英会話Ia (Paul Nadasdy/ 院講1) イメージ文化論a (安川晴基/マル チメディア講義 室) スペイン文学演習a (山口元/演14) ドイツ語学演習a (石井正人/演16)	生成文法理論演習a (梶田幸栄/人社 研棟4階共同研 究室2) 多言語多文化接触 論演習a (高民定, 村岡英 裕/院演1)		
資格・ 留学生						

	月曜1限	月曜2限	月曜3限	月曜4限	月曜5限	月曜6限
文学部 共通						
行動科学	言語情報処理論b (伝康晴/共演3)	比較認知論b (牛谷智一/102講義室) 人格心理学a (若林明雄/院講1) 医療人類学a (高橋絵里香/103講義室)	言語認知情報学演習b (伝康晴/共演3) 心理学基礎演習b (須藤昇, 柳淳二/演21, 演22) 民族誌b (高橋絵里香/院演1)	心理学初級実験b (心理学講座全教員/演22, 演23, 演24) 現代哲学c (田島正樹/共演4) 認知情報科学特別実習b (認知情報科学講座全教員/画情2, 共演3) 認知情報科学発展実習b (認知情報科学講座全教員/画情2, 共演3)	心理学初級実験b (心理学講座全教員/演22, 演23, 演24) 倫理思想史c (田島正樹/共演4) 認知情報科学特別実習b (認知情報科学講座全教員/画情2, 共演3) 認知情報科学発展実習b (認知情報科学講座全教員/画情2, 共演3)	
史学		文書学基礎演習c (三宅明正/演23) 歴史社会学演習b (秋葉淳/演22)	世界史基礎b (小沢弘明/103講義室) 比較社会史b (岩城高広/101講義室)	歴史情報論演習b (三宅明正/史学演習室) 外国語史料基礎演習a (小沢弘明/院演1) 東南アジア社会論演習d (岩城高広/院演3) 日本美術史演習d (池田忍/総合校舎A号館3階視聴覚演習室(A302))		
日本文化		ユーラシア言語文化論演習d (中川裕, 児玉香菜子/画情1) 現代日本語演習d (岡部嘉幸/演24) 近世文化論演習b (高木元/演25)	近代文学論演習b (大原祐治/演24) 日本語教育方法論b (村岡英裕/院演2) 言語体系論b (田口善久/102講義室)	言語学概説b (中川裕/101講義室) 日本語教育方法論演習a (佐藤尚子/国際教育センター2階講義室2) 古代日本語演習d (須永哲矢/演21) 近世文化論b (高木元/演25)	現代日本語論d (岡部嘉幸/103講義室)	
国際言語文化		独語b (水上藤悦/演21) イギリス文学演習d (篠崎実/共演4) 比較文学論演習b (西村靖敬/人社研棟4階共同研究室2)	英作文Ib (Andrew Rayment/院講2) 英語学演習d (梶田幸栄/人社研棟4階共同研究室2) 言語体系論b (田口善久/102講義室) 仏語b (西村靖敬/演16)	英会話Ib (Andrew Rayment/院講2) 言語学概説b (中川裕/101講義室) ドイツ語演習d (水上藤悦/演31)	英語音声学b (梶田幸栄/画情1)	
資格・ 留学生	情報サービス演習 (竹内比呂也/マルチメディア講義室)					

〔後 期〕

	火曜1限	火曜2限	火曜3限	火曜4限	火曜5限	火曜6限
文 学 部 共 通					現代社会で働くこと (尾形隆彰、特別 講師多数/206 講義室) 地誌b (川名禎/101講義 室) 博物館学a (高木博彦/106講 義室)	
行 動 科 学	文化人類学基礎 (鈴木伸枝・小谷 真吾・高橋絵里 香/マルチメディア 講義室)	認知情報科学基礎 演習b (実森正子、伝康 晴/共演1) 近世近代哲学演習d (忽那敬三/演24) 社会学概説b (片桐雅隆/103 講義室) 社会心理学演習d (小森めぐみ/演15)	認知心理学a (一川誠/画情1) 比較認知行動論演 習b (実森正子/演16) 哲学基礎演習(作 文)a (山田圭一/演31) 技術論b (忽那敬三/共演 4) 社会調査実習c (清水洋行/院講1) 多様性認知論演習b (牛谷智一/演14) 価値論b (高橋久一郎/102 講義室) 文化人類学調査概 説b (高橋絵里香/院 演3)	論理学の哲学a (山田圭一/103講 義室) データ解析基礎論b (松香敏彦/総合 校舎A号館5階 情報処理演習室 1) 社会調査実習d (清水洋行/院講1) 人格・発達心理学 演習b (若林明雄/演22) 知識論講読b (高橋久一郎/共 演1) 社会心理学a (小森めぐみ/102 講義室)	東洋哲学講読c (内山直樹/演25) 認知情報科学基礎 (認知情報科学講 座全教員/マル チメディア講義 室)	認知情報解析学演 習b (松香敏彦/工学 部8号館305号 室)
史 学		図像解釈学b (上村清雄/総合校 舎A号館3階視聴 覚演習室(A302)) 外国語史料基礎演 習d (大峰真理/大峰研 究室(院棟201)) 文書学基礎演習b (引野亨輔/共演 2) 朝鮮語史料演習b (趙景達/史学演 習室)	マイノリティー史 演習b (小沢弘明/院演 2) 考古学演習a (柳澤清一/史学 演習室) 国際社会史b (栗田禎子/マル チメディア講義 室) 文化財学概説b (池田忍/103講義 室) 日本史概説b (趙景達/101講義 室)	北方先史文化論b (柳澤清一/院演 3) 中東史史料演習b (栗田禎子/演15) アジア思想史演習d (趙景達/史学演 習室) 博物館学実習a (高木博彦/院演 2)		
日 本 文 化		フィールド調査法 演習d (児玉香菜子/演 25) 伝承文学論a (兼岡理恵/102 講義室)	古代文学論演習d (兼岡理恵/演 25) 音声学a (田口善久/演24)	音韻論b (田端敏幸/演16)	東洋哲学講読c (内山直樹/演25)	
国 際 言 語 文 化	言語コミュニケーション論概説a (梶田、鎌田、石 井、山口、泉/ 102講義室)	図像解釈学b (上村清雄/総合校 舎A号館3階視聴 覚演習室(A302)) ドイツ文学演習a (水上藤悦/演31) ラテン語演習d (石井正人/演22) 英語学概説b (鎌田浩二/院講 1) 露語d (鴻野わか菜/演 21)	フランス語演習f (泉利明/演22) 独作文b (石井正人/演15) 演劇論b (篠崎実/人社研 棟4階共同研究 室2) 露語c (鴻野わか菜/演 21)	フランス思想演習d (三井吉俊/演24) ドイツ文学史a (水上藤悦/演31) イギリス文学概説b (篠崎実/院講2) スラヴ文化論演習d (鳥山祐介/演21)	芸術メディア論演 習d (館美貴子/演31)	
資 格 ・ 留 学 生			日本研究入門c (高民定(世話人) 千葉慶、西田一 豊、高橋孝次/ 院講2)			

	水曜1限	水曜2限	水曜3限	水曜4限	水曜5限	水曜6限
文学部 共通		大学図書館論 (竹内比呂也/画 情1)		古典ギリシア語入門d (和泉ちえ/演23)	人文科学の現在7 (中川裕, 荻原真子, 村山和之, 山下宗 久/206講義室)	
行動科学		科学史演習b (和泉ちえ/共演 2) 知的情報処理論b (阿部明典/院演 1) 高次認知論a (須藤昇/103講 義室)	文化人類学調査実習c (小谷真吾・高橋 絵里香・鈴木伸 枝/人社研1F 文化人類学演習 室) 知覚心理学演習b (木村英司/演22) 社会学研究法b (片桐雅隆・尾形 隆彰/社会学A ゼミ室, Bゼミ室) 哲学基礎 (田島正樹, 高橋 久一郎, 忽那敬 三, 和泉ちえ, 内 山直樹, 山田圭 一/206講義室) 知識情報科学演習b (阿部明典/共演 2)	文化人類学調査実習d (小谷真吾・高橋 絵里香・鈴木伸 枝/人社研1F 文化人類学演習 室) 高次認知論演習b (須藤昇/演22)	認知心理学演習b (一川誠/演16) 医療と福祉の社会 学b (出口泰靖/101講 義室) 知的情報処理論c (山川宏/総合校 舎A号館3階情 報処理自習室) 文化人類学研究法 b (鈴木伸枝/院演 2)	人間探求基礎演習Ⅲ (一川誠/演16)
史学		国際関係史演習b (大峰真理/院演 2) 日本史概説a (引野亨輔/102講 義室)	東アジア地域史b (山田賢/102講義 室) 考古学実習c (柳澤清一/史学 演習室) イスラーム地域史b (秋葉淳/103講義 室)	西ヨーロッパ地域史a (大峰真理/103講 義室) 民俗・伝承論b (野村典彦/106講 義室)	中世記録史料演習a (竹井英文/史学 演習室)	
日本文化	言語機能論演習c (菅野憲司/院演 3)	ユーラシア文化論 演習b (吉田睦/演25)	東アジア地域史b (山田賢/102講義 室) 日本語学概説b (岡部嘉幸/101講 義室)	民俗・伝承論b (野村典彦/106講 義室)	民俗文化論b (和田健/国際教 育センター1階大 講義室)	
国際言語 文化	古代ギリシア語演習d (加藤隆/演31)	フランス語演習b (三井吉俊/院講 1) 比較宗教思想論演 習b (加藤隆/演24) スペイン語学概説b (山口元/演14) 英語史b (鎌田浩二/演15) ロシア語学概説b (鴻野わか菜/演 21)	フランス語演習c (加藤隆/演21) 仏語c (土田知則/演23) 西語d (山口元/演14)	イメージ文化論演習b (三宅晶子/院演 1) 文芸思想論演習b (土田知則/演31) 西ヨーロッパ地域史a (大峰真理/103 講義室) 英語圏文化論b (館美貴子/102講 義室) 英語学文献講読c (鎌田浩二/演24)	英書講読b (館美貴子/演14)	
資格・ 留學生					情報検索演習 (竹内比呂也・岡 本一志/総合校 舎A号棟5階情 報処理演習室1)	

〔後 期〕

	木曜1限	木曜2限	木曜3限	木曜4限	木曜5限	木曜6限
文学部 共通		精神医学b (橋川清人／マルチメディア講義室)	人文科学の現在5 (世話役：和泉ちえ、鈴木孝典、佐藤賢一、堀尾耕一、富澤かな／206講義室)	人文科学の現在6 (秋葉淳(世話人)、小笠原弘幸、黒田加奈子、須田牧子、増田えりか／101講義室) 情報倫理学 (高橋久一郎＋非常勤講師／102講義室)	生命倫理学 (高橋久一郎＋非常勤講師／106講義室)	
行動科学	心理学上級実験b (心理学講座全教員／画情1, 演21, 演22) 心理学中級実験b (心理学講座全教員／画情1, 演21, 演22) 人間探求基礎演習Ⅳ (社会学講座教員／社会学Aゼミ室) 認知情報科学基礎実習b (認知情報科学講座全教員／画情2, 院演1)	社会学演習b (出口泰靖, 尾形隆彰, 片桐雅隆, 米村千代, 清水洋行, 鶴田幸恵／演15, 演16) 文化人類学演習b (小谷真吾／社文研1F文化人類学演習) 心理学上級実験b (心理学講座全教員／画情1, 演21, 演22) 心理学中級実験b (心理学講座全教員／画情1, 演21, 演22) 認知情報科学基礎実習b (認知情報科学講座全教員／画情2, 院演1)			先進教養セミナー (後期) (行動科学科全教員／各担当教員の指示による)	
史学		歴史学入門b (岩城高広・山田俊輔・保坂高殿／共演1, 共演2, 共演3) 史学方法論b (秋葉淳・池田忍・趙景達・柳澤清一／103講義室)	国際関係史a (高光佳絵／院講1)			
日本文化	日本文学研究法a (竹内比呂也, 村岡英裕, 岡部嘉幸, 田口善久, 中川裕／103講義室) 言語機能論a (菅野憲司／院演3)	日本文学入門b (吉田睦, 高木元, 村岡英裕, 菅野憲司, 大原祐治, 児玉香菜子／各担当教員の指示による)	近代文学論a (小林洋介／総合校舎F号館F51教室)	古代日本語論d (藤本灯／画情1)	日本地域言語学音韻論演習b(隔週, 通期科目) (竹田晃子／演25) 言語学基礎演習b (菅野憲司／院演3)	
国際言語 文化		アメリカ文学史b (河田英介／院講1) 国際言語文化学入門b (学科全教員／102講義室)	仏会話d (Gaetan Moreau／演25)	西会話b (Angel Poveda／演24)	スペイン文学講読b (Angel Poveda／演24)	
資格・ 留 学 生					資料・情報組織論 (那須雅照／マルチメディア講義室)	

	金曜1限	金曜2限	金曜3限	金曜4限	金曜5限	金曜6限
文学部 共通				科学技術倫理学 (忽那敬三+非常 勤講師/マルチ メディア講義室) ラテン語入門b (石井正人/演14)		
行動科学		生物人類学演習b (小谷真吾/院演 2) 哲学基礎演習(作 文)b (山田圭一/演31)	東洋哲学演習d (内山直樹/演31) ユーラシア文化論b (吉田陸/101講義 室) 社会調査概説b (鶴田幸恵/画情 1)	認知行動基礎論b (実森正子/院講 1) ジェンダーの社会 学b (鶴田幸恵/画情 1)	科学基礎論演習d (山田圭一/演24)	人間探求基礎演習II (認知情報科学講 座全教員/教員 研究室)
史学		図像解釈学演習d (上村清雄/画情 1) 歴史考古学a (山田俊輔/史学 演習室) 歴史社会学a (引野亨輔/102講 義室)	先史考古学演習b (山田俊輔/史学 演習室) 東アジア古典語史 料演習d (山田賢/演25) 近世記録史料演習c (引野亨輔/人社 研棟2階マルチメ ディア制作室) アジア史概説b (秋葉淳/103講 義室)	ヨーロッパ美術史 演習d (上村清雄/総 合校舎A号館3 階視聴覚演習室 (A302)) ヨーロッパ・アメ リカ史概説b (保坂高殿/総合 校舎F号館F52教 室) 日本近代史b (黒川みどり/102 講義室)	近代史料記録演習d (長澤淑夫/史学 演習室)	
日本文化		アイヌ語b (中川裕/共演3) 多言語多文化接触 論b (村岡英裕/演24) 中世文化論演習b (柴佳世乃/総 合校舎A号館3 階視聴覚演習室 (A302))	アイヌ文化論演習d (中川裕/共演3) ユーラシア文化論b (吉田陸/101講義 室) 日本文学史h (大原祐治/102 講義室)	多言語多文化接触 論演習b (村岡英裕/演15) 中世文学論b (柴佳世乃/103 講義室)		
国際言語 文化		広域英語圏文化論b (Andrew Rayment/ 演15) 西語b (山口元/演14) 多言語多文化接触 論b (村岡英裕/演24)	広域英語圏文化論 演習a (Andrew Rayment/ 演21) 英会話Ib (Paul Nadasdy/ マルチメディア講 義室) スペイン文学演習b (山口元/演14) ドイツ語学演習b (石井正人/演15)	多言語多文化接触 論演習b (村岡英裕/演15) 生成文法理論演習b (梶田幸栄/人社 研棟4階共同研 究室2)		
資格・ 留学生						

集中講義・その他【前期】			
	授業科目名	教 員 名	開講日程・教室等
文学部共通	専門図書館論（平成23年度以前入学学生対象）	三輪眞木子	9月12日、13日、16日、17日の各1～4時限 開講教室：マルチメディア講義室
	電子図書館論（平成24年度以降入学学生対象）	三輪眞木子	9月12日、13日、16日、17日の各1～4時限 開講教室：マルチメディア講義室
行動科学	人間探求発展演習 a	人間探求コース担任教員（木村英司）	教員研究室
	人間探求基礎実習 a	人間探求コース担任教員（高橋久一郎）	教員研究室
	人間探求発展セミナー（前期）	人間探求コース担任教員（高橋久一郎）	教員研究室
	人間探求発展演習（旧） a	人間探求コース担任教員（高橋久一郎）	教員研究室
	先進基礎数学セミナー（前期）	伝康晴，松香敏彦	伝研究室
	オムニバスセミナー 1 / 2	学外教員（世話人：花輪知幸）	
	発達心理学 a	小塩真司	8月5日（月）～7日（水）の各1～5時限 開講教室：未定（後日，掲示板にて周知します。）
	行為論講読 b	小川隆	開講日程等，詳細については，後日掲示板にてお知らせします。
	開発人類学 a	渡邊暁子	9/17-20 初日のみ2～4時限 後3日はいずれも2～5時限開講予定 開講教室：102講義室
	先進生命科学セミナー	牛谷智一	教員研究室
	先進基礎科学セミナー（前期）	牛谷智一（木村英司）	教員研究室
	視覚認知論 a	竹内龍人	8月8日（木）～10日（土）の各1～5時限 開講教室：演24
	先進科学国際演習（前期）	花輪知幸	
	卒業論文特別演習 a	行動科学科全教員（卒業論文指導教員）	
行動科学入門 a	行動科学科全教員		
史 学	ヨーロッパ美術史 a	加藤磨珠枝	8月6日（火）～9日（金） 開講教室未定 詳細については，後日掲示板にて改めて周知します。
	比較考古学 b	比田井克仁	8月8日（木）～10日（土）の各1～5時限 開講教室：史学演習室
	歴史学基礎演習 a	史学科全教員	別途指示する
	卒業論文特別演習 a	学科全教員（卒業論文指導教員）	
	文化財学実習 a・b	柳澤清一・山田俊輔	史学演習室
	博物館学実習 b	高木博彦	ガイダンス日程：4月15日（月）16:10～ 開講教室：106講義室
日本文化	ユーラシア文化論研究法 a	ユーラシア言語文化論講座全教員	別途指示する
	現代文学論 b	井上乃武・倉田容子・大橋崇行・牧野悠	8月26日～30日 開講教室：102講義室 （備考）詳細な日程については，WEBシラバスにて別途確認してください。
	卒業論文特別演習 a	日本文化学科全教員（卒業論文指導教員）	
	日本文化論研究法 a	日本語文化論講座全教員	別途指示する
	社会言語学 b	猿橋順子	9月2日，3日，5日の各2～5時限，及び6日の2～4時限 開講教室：102講義室
	言語機能論演習 d	菅野憲司	院演 3
国際言語文化	卒業論文特別演習 a	学科全教員（卒業論文指導教員）	
	社会言語学 b	猿橋順子	9月2日，3日，5日の各2～5時限，及び6日の2～4時限 開講教室：102講義室

（注意点）

- 平成25年3月中旬時点で，開講日程や教室が決まっている授業については，その旨が明記されています。日程・教室情報が空欄の授業科目（特に非常勤講師担当の授業科目）については，日程等が決まり次第，102講義室手前の掲示板にて，改めて周知いたします。掲示を頻繁に確認するようにしてください。
- 履修を考えている非常勤講師担当の授業科目の開講日程が，WEB履修登録期間中に掲示で周知されない場合も，とりあえずWEB履修登録手続きは，済ませておいてください。掲示での周知後，日程的に都合がつかないことが判明した場合は，別途掲示でお知らせする期間内に学部学務グループの窓口へ申し出てください。その集中講義科目に限り，WEB履修登録を削除いたします。
- 千葉大学専任教員が担当する集中講義科目については，ガイダンスの際，開講日程・開講場所等が直接周知されることがあります。また小規模の集中講義については，授業担当教員から受講生に対し，直接通知される場合もあります。その場合は，その指示に従ってください。

（補記）教員名表記が明朝体の教員は千葉大学専任教員，ゴシック表記の教員は非常勤講師です。

集中講義・その他【後期】			
	授業科目名	教 員 名	開講日程・教室等
行動科学	人間探求発展演習b	人間探求コース担任教員（木村英司）	教員研究室
	人間探求基礎実習b	人間探求コース担任教員（高橋久一郎）	教員研究室
	人間探求基礎演習（旧）b	人間探求コース担任教員（高橋久一郎）	教員研究室
	人間探求発展セミナー（後期）	人間探求コース担任教員（高橋久一郎）	教員研究室
	人間探求発展演習（旧）b	人間探求コース担任教員（高橋久一郎）	教員研究室
	先進基礎数学セミナー（後期）	伝康晴，松香敏彦	伝研究室
	経済人類学a	奥田若菜	2月10日（2-5限），12~13日（2-5限），14日（2-4限） 開講教室：未定（後日，掲示板にて周知します。） （備考）卒業判定日程の都合上，4年生は受講できません。
	先進統計解析セミナー	松香敏彦	松香研究室
	先進基礎科学セミナー（後期）	牛谷智一（木村英司）	教員研究室
	先進科学国際演習（後期）	花輪知幸	
	卒業論文特別演習b	行動科学科全教員（卒業論文指導教員）	
	行動科学入門b	行動科学科全教員	
	人間探求基礎セミナー	高橋久一郎	教員研究室
史 学	歴史学基礎演習b	史学科全教員	
	卒業論文特別演習b	学科全教員（卒業論文指導教員）	
	文化財学実習e・f	柳澤清一・山田俊輔	史学演習室
日本文化	ユーラシア文化論研究法b	ユーラシア言語文化論講座全教員	別途指示する
	卒業論文導入演習	日本文化学科全教員（卒業論文指導教員）	3年次後期
	卒業論文特別演習b	日本文化学科全教員（卒業論文指導教員）	
	日本文化論研究法b	日本言語文化論講座全教員	別途指示する
国際言語文化	論文作成演習	国際言語文化学科全教員	3年次後期
	卒業論文特別演習b	学科全教員（卒業論文指導教員）	

集中講義・その他【通期】	
全 学 科	卒業論文（学部全教員）
教 職	教育実習（5単位）※中学校教諭一種免許状 教育実習（3単位）※高等学校教諭一種免許状
資 格	図書館インターンシップ（竹内比呂也）
	博物館学実習c（高木博彦） ガイダンス日程 4月15日（月）17：00～ 開講教室：106講義室

（注意点）

- 平成25年3月中旬時点で、開講日程や教室が決まっている授業については、その旨が明記されています。日程・教室情報が空欄の授業科目（特に非常勤講師担当の授業科目）については、日程等が決まり次第、102講義室手前の掲示板にて、改めて周知いたします。掲示を頻繁に確認するようにしてください。
- 履修を考えている非常勤講師担当の授業科目の開講日程が、WEB履修登録期間中に掲示で周知されない場合も、とりあえずWEB履修登録手続きは、済ませておいてください。掲示での周知後、日程的に都合がつかないことが判明した場合は、別途掲示でお知らせする期間内に学部学務グループの窓口へ申し出てください。その集中講義科目に限り、WEB履修登録を削除いたします。
- 千葉大学専任教員が担当する集中講義科目については、ガイダンスの際、開講日程・開講場所等が直接周知されることがあります。また小規模の集中講義については、授業担当教員から受講生に対し、直接通知される場合もあります。その場合は、その指示に従ってください。

（補記）教員名表記が明朝体の教員は千葉大学専任教員、ゴシック表記の教員は非常勤講師です。

V 事務手続きについて

1. 窓口取扱いの時間等について

文学部学生の子な窓口となる文学部・法経学部学務グループの窓口取扱時間は、次の通りです。なお、大学行事や入学試験等のため、窓口業務を休止することもあります。その場合は掲示等によりお知らせします。

窓口の場所：文学部棟1階 文学部・法経学部学生窓口（学部学務グループ）

TEL：043-290-2352 E-Mail：bhgakumu@office.chiba-u.jp

窓口取扱時間：平日（土日祝祭日を除く。）8：30～17：00

※授業期間外は、12：00～13：00は昼休みとなります。

※8月お盆時期および年末年始は、窓口閉鎖となります。

2. 掲示

学部から学生への通知や連絡事項は、全て学部所定の掲示板（文学部棟1階）に掲示していきます。毎日機会あるごとに掲示板を確認し、必要な手続きをしなかったり、修学に支障をきたすようなことが生じ、不利益を被ることのないように注意してください。

なお、授業情報（休講、補講のお知らせ等）や一部連絡事項等については、千葉大学通知板システム（14ページ参照）でも確認することができます。ただし、全ての情報を掲載しているわけではありませんので、必ず学内の掲示板の掲示を直接見るよう心掛けてください。

3. 学生呼び出しについて

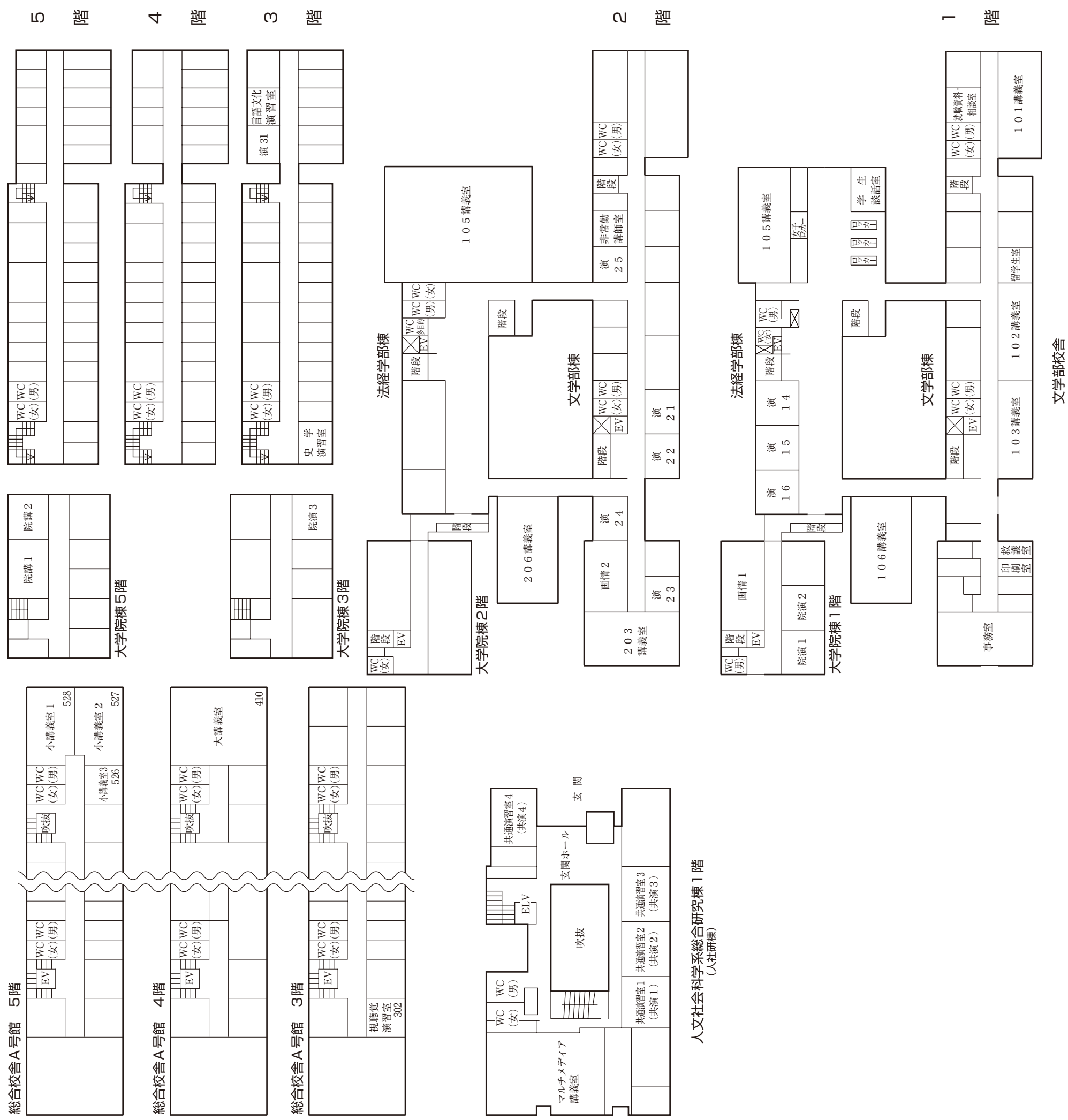
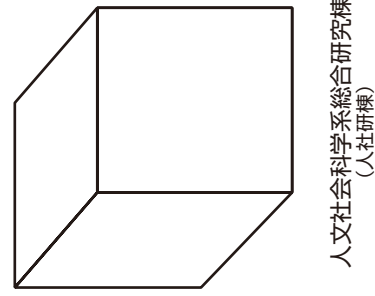
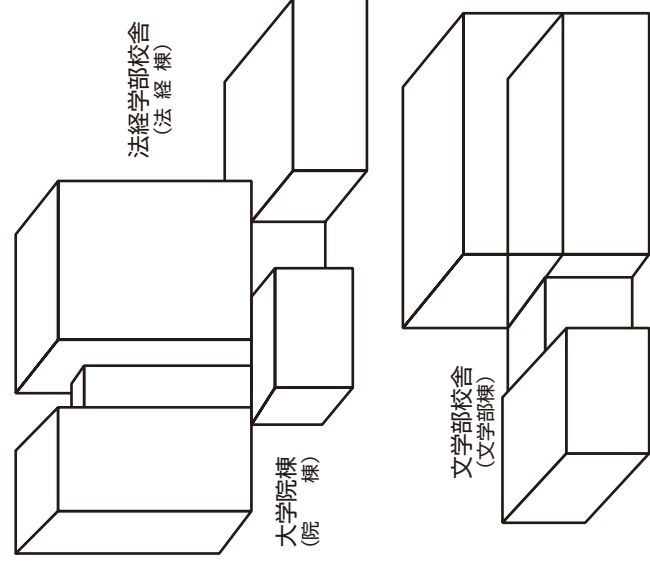
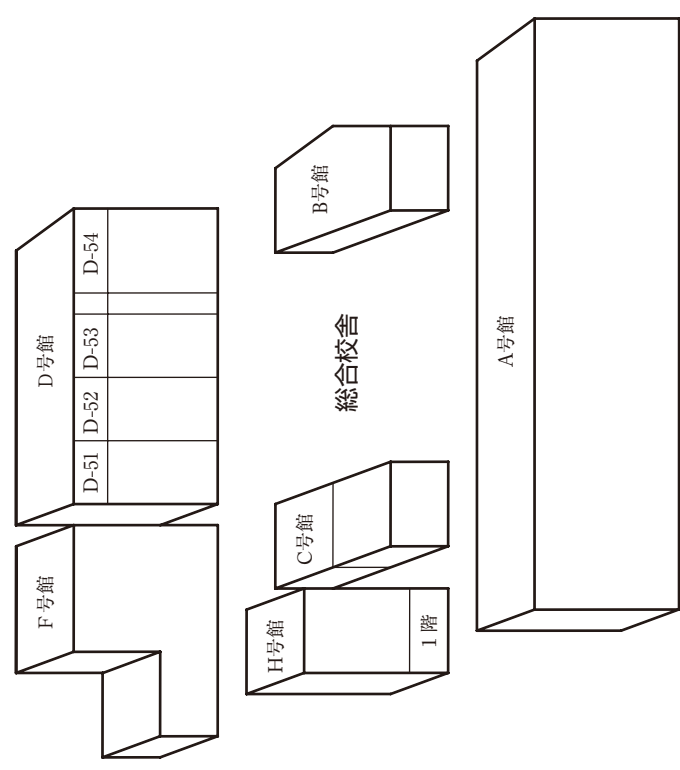
学部学務グループや教員から個人に対して、連絡事項等の呼び出しをすることがあります。呼び出しの際は、学部掲示板に個人名または学生証番号で呼び出しますが、緊急の場合には直接電話やメールにより連絡することもありますので、連絡先等が変更になった場合には、速やかに履修登録システムで新しい連絡先等を入力してください。

4. 事務手続き等の案内

種 別	摘 要	手続窓口
授業料関係	授業料の納入 本学の授業料の納入方法は、原則として口座引落方式で行い、前期授業料は4月下旬、後期授業料は10月下旬に、指定銀行・郵便局口座からの引落により授業料を徴収します。 授業料額については学部掲示板（授業料関係）に掲示しますので、各自必ず確認をお願いします。 ○ 納入期限 前期分4月末日 後期分10月末日 ※土日の場合はその前日となります。 ○ 平成25年度授業料口座引落日 前期分授業料 平成25年4月30日（火） 後期分授業料 平成25年10月28日（月）	財務部経理課 043-290-2068
	授業料免除 授業料は、経済的理由により授業料の納入が困難であり、且つ学業優秀と認められた場合など、申請に基づく選考の結果、全額または半額免除されることがあります。また、授業料徴収猶予、月額分納の制度もあります。 申請時期については、前期分は前年度1月下旬頃、後期分は7月上旬頃に掲示されますので注意してください。	学生部学生支援課 043-290-2178

種 別	摘 要	手続窓口
証明書関係 各種証明書の発行	次の各種証明書については、総合校舎A号館1階若しくは学生支援課（学生支援プラザ内）に設置の証明書自動発行機で発行できます。 1～4年次生 在学証明書、健康診断証明書（学内健康診断を受診した者）、学校学生生徒旅客運賃割引証（学割証） 3年次後期、4年次のみ発行可能 成績証明書 4年次生のみ発行可能 卒業見込証明書 3年次以下の学生でその他証明書の発行が必要な者は、学部学務グループで証明書交付願により申し込んでください。（発行には所定の日数がかかりますので余裕を持って早めに申し込んでください。即日発行はできません。）	学部学務グループ
身分関係 休学願 復学願 退学願 氏名変更 現住所等の変更 学生証の再発行	※身分移動（休学、休学延長、復学、留学、退学）については、全て事前に指導教員・教務委員から承諾を得る必要があります。 疾病その他の事由により2ヶ月以上修学することができない場合、休学事由を付して休学を願ひ出てください。 休学願の提出期限は、原則として休学しようとする日から起算して1ヶ月前までとします。（疾病の場合は、医師の診断書を添付してください。）	学部学務グループ
	休学期間満了の場合、または休学期間であっても休学事由が消滅した場合には、原則として復学しようとする日から起算して1ヶ月前までに復学願を提出してください。（疾病の場合は、医師の診断書を添付してください。）	
	退学しようとする日から起算して1ヶ月前までに手続きを行ってください。なお、退学する学期の授業料を完納しなければなりません。	
	改正のため氏名変更が生じたら、速やかに学部学務グループに届け出てください。	
	本人や保護者などの本人以外の現住所、連絡先等が変更になった場合は、速やかに履修登録システムで新情報を入力してください。また、窓口（学務グループ）へ書面にて届出てください。	
紛失や盗難、在籍期間延長のために再発行が必要な場合は、学部学務グループで学生証再発行申請書を交付します。 再発行には、35×25mmのカラー写真および再発行用カード（350円、生協ブックセンター販売）が必要になります。 ※在籍期間延長の場合は、再発行用カードは不要です。		
その他 各種奨学金制度 通学証明 自転車通学	日本学生支援機構奨学金、その他各種奨学金の詳細については、学生部学生支援課へ問い合わせてください。 ※奨学金受給者で、休学等の身分移動や、氏名・現住所等の変更が生じた場合には、学生部学生支援課で手続きが必要になります。	学生部学生支援課 043-290-2178, 2169
	通学定期券を購入する場合は、学生証の裏に通学証明シールを貼付することで通学証明として利用することができます。通学証明シールを必要とする者は、学部学務グループに申し出てください。ただし、以下の場合は、「通学証明書」を学務グループにて発行してもらう必要があります。（即日発行は不可） ・JR、私鉄、地下鉄等、3鉄道会社以上の路線を利用する場合 ・バス通学をする場合	学部学務グループ
	通学のため、構内へ自転車で乗り入れる場合は、自転車通学登録が必要です。自転車通学をする者は、事前に生協住まい・アルバイト紹介センターで自転車等入構許可申請及びステッカー購入申込書の交付を受け、自転車等入構許可ステッカーを購入してください。（学部学務グループでの手続きは不要です。）	生協住まい・アルバイト紹介センター

VI 案 内 図



他学部履修許可願

年 月 日

文学部長

殿

年度入学 学科

学生証番号 L 氏名 ⑩

() 学部の下記科目を履修したいので、ご許可くださるよう手続きをお願いいたします。

記

履修科目	教員名	承認 ⑩	期別	単位数	曜日・時限

※ 「学部開放科目」または「西千葉地区共通化科目」「他学部用教育学部教職科目」として指定されているもの以外の他学部開講科目を履修する場合に提出すること。

他学部履修許可願

年 月 日

() 学部長

殿

年度入学 学科

学生証番号 L 氏名 ⑩

() 学部の下記科目を履修したいので、ご許可くださるよう手続きをお願いいたします。

記

履修科目	教員名	承認 ⑩	期別	単位数	曜日・時限

※ 「学部開放科目」または「西千葉地区共通化科目」「他学部用教育学部教職科目」として指定されているもの以外の他学部開講科目を履修する場合に提出すること。

（切り離さぬこと）

他学部履修許可願

年 月 日

文学部長

殿

年度入学 学科

学生証番号 L 氏名 ⑩

() 学部の下記科目を履修したいので、ご許可くださるよう手続きをお願いいたします。

記

履修科目	教員名	承認 ⑩	期別	単位数	曜日・時限

※ 「学部開放科目」または「西千葉地区共通化科目」「他学部用教育学部教職科目」として指定されているもの以外の他学部開講科目を履修する場合に提出すること。

他学部履修許可願

年 月 日

() 学部長

殿

年度入学 学科

学生証番号 L 氏名 ⑩

() 学部の下記科目を履修したいので、ご許可くださるよう手続きをお願いいたします。

記

履修科目	教員名	承認 ⑩	期別	単位数	曜日・時限

※ 「学部開放科目」または「西千葉地区共通化科目」「他学部用教育学部教職科目」として指定されているもの以外の他学部開講科目を履修する場合に提出すること。

（切り離さぬこと）

学生証番号	氏名
L	